

取扱説明書  
TPS-P07C Series  
高機能ポジショニングユニット  
“ULISSE COMPACT”



Manual Version 1.2(1511)  
株式会社スリーディー  
2018年11月

注意事項

- ご使用になる前に本マニュアルをよくお読み下さい。また、設置される際には、本マニュアルをお手元にご用意下さい。
- 本製品は、技術スタッフによる適正な設置をお願いしています。設置にあたっては、購入先か当社へ用命下さい。お客様により本体カバーを開けられた場合には、無償保証期間内であっても保証対象外となります。
- 仕様の際は本マニュアルに従って、機器の配線を適切に行ってください。
- 配線用のケーブルは適正規格のものを使用してください。
- 多湿、高温、火の元の近くや、その危険のある場所でのご使用や保管は避けて下さい。
- 販売会社の説明または、マニュアルをよく読んで使用してください。
- 設置の際は、本体はしっかりと固定してください。
- ケーブルの配線を変更する場合は、電源が切れていることを確認してから行ってください。
- 関係者以外の操作は不要委に行わないようにしてください。
- 設置後はいつでも本マニュアルを参照できるよう大切に保管してください。

[更新履歴]

2018年11月 9-1-10-8 モーション呼出し「3 起動時動作」機能追加

このマニュアルは3Dの製品であるTPS-P07Cシリーズ高機能ポジショニングユニット「Ulisse Compact」の設置、設定についての内容です。製品特徴や注意事項を熟知し大切に保管して下さい。

全ての設定は予告なく変更する場合があります。本書に記載されている内容については保障しますが、第三者の権利侵害に関しはいかなる責任も負いません。

お問合せ先

株式会社スリーディー 画像通信システム事業部

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1

TEL. 03-5431-5971(代)

FAX. 03-5431-5970

<https://www.3d-inc.co.jp/>






E-mail:info@3d-inc.co.jp

目次		
1. はじめに.....	5	1 マニュアルコントロール
2. コピーライト・著作権について		2 リミットの編集.....
3. 安全のために		39
4. 製品の特徴.....	7	3 プリセットメニュー
5. モデル.....	8	4 プリセットの編集
5-1 ワイパー搭載モデル TPS-P07CW		5 プリセットユーティリティ.....
5-2 LED 搭載モデル TPS-P07CR/TPS-P07CLW		40
5-3 IP エンコーダー搭載モデル		6 パトロール
6. 設置前の準備.....	9	7 オートパン.....
6-1 設置前の安全確認		41
6-2 開梱の前に		8 モーション呼出し
6-3 梱包物の確認		9 高度な設定
6-4 梱包材料の廃棄について		9-1-11 ディスプレイメニュー.....
6-5 設置前の準備作業.....	10	42
6-5-1 ブラケットの固定		9-1-12 オプション
6-5-2 ケーブルの取り回し.....	11	9-1-13 ウォッシャー設定.....
7. 設置		44
7-1 電源ベースユニットへのケーブル通線		9-1-14 初期化.....
7-2 電源ベースユニットのブラケットへの固定.....	12	45
7-3 主基板への結線.....	13	9-1-15 INFO 情報参照
7-4 アラーム・リレー基板への結線.....	16	9-2 ソフトウェアインターフェース (ネットワークモデルのみ).....
7-4-1 基板		45
7-4-2 アラーム入力.....	17	10. オプション品.....
7-4-3 リレー出力		46
7-4-4 LED ライトの感度スイッチ.....	18	10-1 ウォッシャー
7-4-5 ウォッシャーの接続.....	19	10-2 ウォールマウントブラケット
7-5 本体上部の固定.....	20	10-3 パラペットマウントブラケット
7-6 DIP/SW の設定.....	21	10-4 シーリングブラケット.....
8. 電源を入れる.....	26	47
9. システム設定.....	27	11. 通常動作.....
9-1 OSM(On Screen Menu)メニュー		48
9-1-1 ジョイスティック操作		11-1 バンチルト情報の表示.....
9-1-2 メニュー間の移動		48
9-1-3 設定の変更.....	28	11-2 プリセット登録
9-1-4 設定数値の変更		11-3 プリセットの呼出(スキャン).....
9-1-5 テキストの変更.....	29	49
9-1-6 システム設定.....	30	11-4 パトロール機能
9-1-7 メインメニュー		11-5 オートパン機能
9-1-8 言語		11-6 パターンの呼出(ツアー)
9-1-9 カメラメニュー.....	30	11-7 ホームポジションの呼出
9-1-10 動作メニュー.....	38	11-8 ワイパーの使用.....
		50
		11-9 ウォッシャーの使用
		11-10 赤外線ライト
		11-11 本体の再起動
		11-12 プリセットフォーカスの手動調整
		11-13 特殊コマンド表.....
		51
		12 メンテナンスとクリーニング.....
		54
		13 製品本体の廃棄について
		14 トラブルシューティング.....
		55
		15 製品仕様.....
		57
		16 製品寸法.....
		59
		付録 DIP/SW アドレス表.....
		60

1. はじめに

本体を設置・使用する前に、本マニュアルをよく読んでください。  
また、設置後も、いつでも参照できるように大切に保管してください。



1-1 記号の意味

	危険：危険度 高 電気ショックの危険があります。電源を抜いてから作業を行ってください。
	危険：物理的な危険 機器を破損する可能性があります。
	危険：高温 表面が熱くなっています。触らないでください。やけどの可能性があります。
	警告：危険度 中 システムの正常動作のために非常に大切な作業です。記載事項をよく読んでから作業を実行してください。
	注意： 製品仕様に関する記述事項です。 次の作業をよりよく理解するために、本記載事項を注意深く読んでください。






2. コピーライト・著作権について

本マニュアルに使用されている製品の名称や会社名は、登録商標です。

3. 安全のために

	赤外線 LED の放出 光学レンズ等光学器具を使用して LED 光を直視しないでください。 LED 光の安全基準 Class 1M 850nm の放出される光パワー 0.1m で 2.2mW EN60825-1/IEC60825-1 に準拠
	白色 LED ライトは、高密度の可視光を放出します。 EN62471/IEC62471 に準拠しており、レーザー光の安全基準は、危険グループ 2 にクラス分けされる製品です。製品の設置方法や使用方法によっては、ユーザーに危険を及ぼす恐れがあります。設置の際は、マニュアルに従ってください。いかなる理由であろうとも、ライトのカバーを開けないでください。光学器具を使用し光を直視しないでください。 Exposure hazard value(EHV) 20.8s 危険距離：200mm

<b>RISK GROUP 2 GROUPE DE RISQUE 2</b>	
<p><b>CAUTION:</b> Possibly hazardous optical radiation emitted from this product. Do not stare at operating lamp. May be harmful to the eye.</p>	<p><b>ATTENTION:</b> Des rayonnements optiques dangereux peuvent être émis par ce produit. Ne pas regarder la lampe directement. Peut être dangereux pour les yeux.</p>

	注意：給電には、最大 20A 容量の安全ブレーカーを介して配電してください。ブレーカーは信頼性の高い製品を使用してください。接点間は、3mm 以上離してください。漏電や過電圧・過電流から機器を守るためにも、必ず安全ブレーカーを設置してください。
	注意：本製品の設置・設定・配線は電気工事士並びに専門技能者が行ってください。
	注意：TNV-1 回路を設置してください。SELV(安全特別低電圧)回路には接続しないでください。
	注意：発火などの危険を防ぐためにも、ヒューズ交換の際は必ず同じタイプのヒューズに使用してください。ヒューズの交換は、弊社技術者が行います。
	注意：発火などの危険を防ぐためにも、UL、CSA 等認定品のケーブルを使用してください。ケーブルは、0.13m m <sup>2</sup> (AWG26)以上をご使用ください。

- 設置作業が終了する前に電源を入れしないでください。
- 電源ケーブル、コネクタは適正なものを使用してください。
- 本マニュアルに記載のない変更や接続、動作保証外の条件下で使用しないでください。物的損害、けがの原因となる可能性があります。
- スペア部品はすべて正規品を使用してください。正規品以外のものでは、火災や放電やその他の危険を発生する可能性があります。
- 各部品材料は適合試験を通過したものですが、設置に際してはその適合を改めて確認してください。
- 電源仕様は、±10%が許容値になります。
- 各機器は恒久的に設置できる構造設計が施されています。
- 機器の搭載は専門技能要員が行うようにします。それ以外の手による作業は可動構造を扱う観点から大変危険です。
- 燃えやすい物のそばで使用しないようにしてください。
- 子供や権限の無い方は触れないように留意してください。
- 故障の際は、専門技術者に要請してください。その際は、電源を停止して使用しないようにしてください。
- グランドを取るようにしてください。
- 機器の電源ケーブルは、3P ケーブルを使用するようにしてください。
- 機器には工事の際、サービスの際に関わらず、無用な負荷や過重をかけないようにしてください。
- 停電時など停止した後に、起動する際は周囲の状況をよく確認してから起動運転するようにしてください。
- 電源を給電する際には、他の皮相ラインや漏電、雷などの影響を受けないようにセパレートラインを構成してください。
- 主電源盤を設けることで、メンテナンスなど様々な場面で円滑に行えます。
- お手元に届いた製品がご注文された製品仕様と間違いないことを確認してください。仕様はラベルに記載されています。

4. 製品の特徴

4-1 特徴

**Ulisse Compact** は、屋外対応高機能パンチルトユニットのコンパクトモデルです。高機能かつパーフェクトなポジショニングを求められる監視には最適な製品です。

最高 60℃までの非常に暑い環境から寒冷地-40℃までの運用に最適です。

遮蔽物のない場所に設置すれば水平 360° エンドレスで回転し、垂直動作範囲は-90° ~ 90° です。手動操作でもパトロールモードでも最速は 1 秒 200° です。プリセット、オートパン、パトロール機能などの各種機能を備え、静止精度は、0.05° です。風の強い場所や振動の激しい場所など厳しい環境の設置に最適な、耐環境性能が優れた製品です。

内蔵の光学 36 倍カメラモジュールは、至近距離の撮影から望遠まで、鮮明な画像を再現します。白色 LED や赤外線 LED 搭載モデルは、夜間でも確実に対象を捉えます。

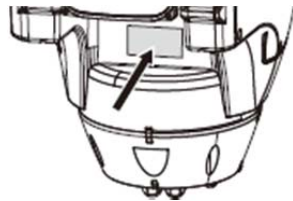
ワイパーを標準で装備し、前面ガラスに付着した埃や雨粒を拭うことができます。別途オプションで設置環境に合わせたウォッシャーポンプを用意しています。

OSD メニューでの詳細設定に加え、RS485/RS422 を介してのリモート制御や、RS232C による最新ファームウェアへのアップデートなどにも対応しています。

高機能ポジショニングユニット「**Ulisse Compact**」は、港湾警備、都市警備、高速道路状況の監視、球場、工場、刑務所や軍施設等の監視に適しています。

4-2 製品ラベル

外箱の製品ラベル及び本体のラベルをご確認ください。以下の記載があります。



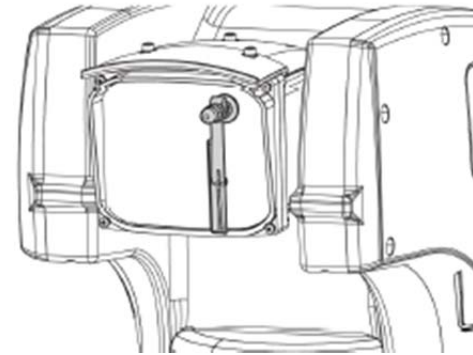
- ・ 電源電圧仕様
- ・ 周波数 (Hz)
- ・ 定格電流
- ・ IP コード (防水防塵保護等級)
- ・ 製品番号

4-2-1 マークの確認

設置作業の前に、必ず、到着した製品が注文した仕様に間違いがないか確認してください。いかなる状況であっても、このマニュアルに記載のない変更や接続を行わないでください。不適切な使用により、使用者及びシステムが重大な安全上の問題にさらされる可能性があります。

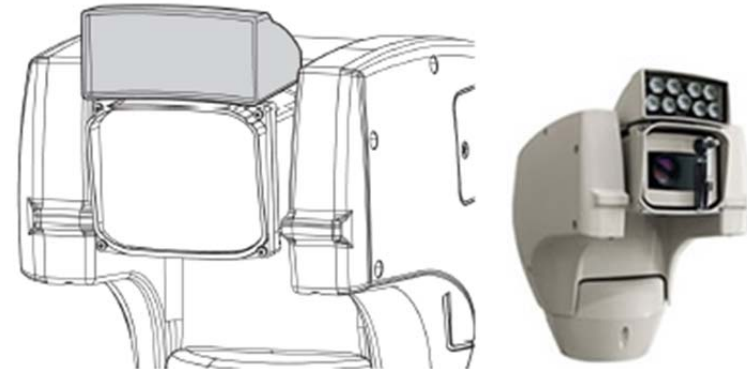
5. モデル

5-1 ワイパー搭載モデル TPS-P07CW



**i** 詳細については、9-3-2 操作 を参照ください。

5-2 LED 搭載モデル TPS-P07CRW、TPS-P07CLW




**i** 詳細については、9-3-2 操作 を参照ください。


5-3 IP エンコーダー搭載モデル


**i** IP モデルは、**Ulisse Compact deLux** モデル TPS-HD330NW、TPS-HD330NRW、TPS-HD330NLW へ移行します。

6. 設置前の準備

 本書に記載のない変更を行った場合は、製品保証期間内であっても、保証は無効となります。

6-1 設置前の安全確認

 本製品は、可動製品です。製品は、通常の運用条件下で、容易に人が近づけない場所に設置してください。また、製品に同梱の警告ラベルを貼り、それがよく見えるように本体の近くに掲示してください。

 電源を入れると、ユニットは初期駆動により自動で上下左右に動きます。電源を入れる際には、必ず十分なスペースを確保してください。また、配線や電源等の周辺機器が動作の妨げにならないように配置してください。



6-2 開梱の前に

製品到着後、製品箱が無疵か、落下や破損の痕がないかよく確かめてください。万一の場合には、発送元、もしくは運送会社にお問い合わせ下さい。また、将来の修理等返送の場合に、製品箱を保管していただくよう推奨します。

6-3 梱包品の確認

開封後、下記一式が入っているかどうかお確かめ下さい。

- |                     |    |
|---------------------|----|
| 製品本体                | 1台 |
| 付属品の箱               | 1箱 |
| ・シリアル延長ケーブル         | 1本 |
| ・ラベル                | 1個 |
| ・シリコンチューブ           | 1式 |
| ・結束バンド              | 2本 |
| ・ゴムブッシュ(ケーブルグラウンド用) | 2個 |
| ・マニュアル              | 1式 |
| ・固定用ボルト及びネジ         | 1袋 |

6-4 梱包材料の廃棄について


梱包資材は、全てリサイクル可能です。廃棄の際には、地区のゴミの分別方法に従って、処分してください。

万が一、製品の不具合や修理等で返送が必要な場合には、オリジナルの梱包資材にて到着時と同様に収納し、ご返送いただくようお願いいたします。


6-5 設置前の準備作業

6-5-1 ブラケットの固定

ブラケットには、3種類あります。設置場所に適したブラケットを選定ください。

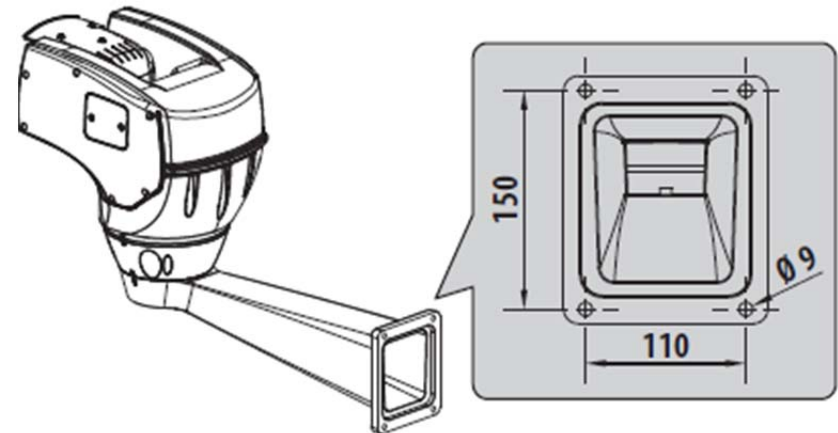
 本体を取付ける際・取外す際には、特別の注意を払ってください。表面がコンクリートの場所に設置する場合は、アンカーを使用してください。ねじ込みの際は、締付トルク 300dN 以上でしっかりと締め付けてください。設置場所の表面が金属の場合は、直径 8mm 以上の適正な長さのネジを使用してください。

必ず、カメラ全体重量の4倍の重さの耐荷重の取付け金具を使用してください。

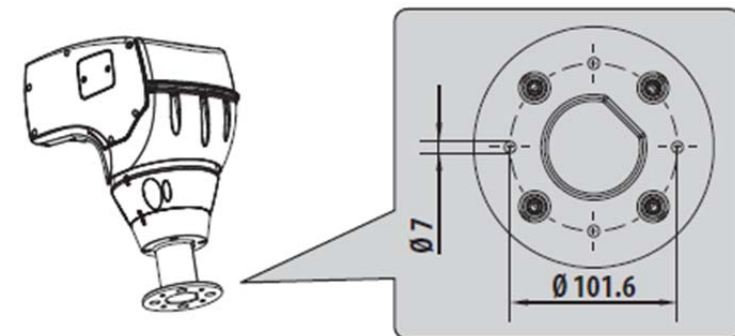
 本製品は、垂直状態(真上/真下)で取り付けます。その他の状態で取り付けると、動作パフォーマンスを低下させる可能性があります。

参考)

TPS-07WM 壁掛けブラケット(オプション)



TPS-07PM 据え置きブラケット(オプション)



※上図は旧型

※その他 天吊り金具 TPS-P07CW(オプション)

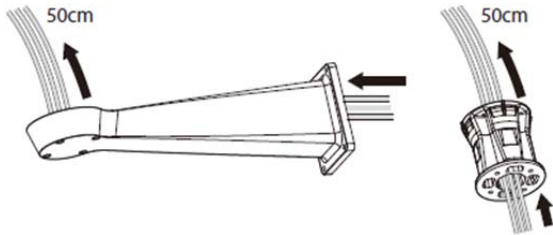


6-5-2 ケーブルの取り直し

**!** 接続するケーブルは、ブラケットの中を通してください。間違えてケーブルを引っ張るなど、ケーブルに負荷がかかることのないように確実にケーブルを締めてください。

**!** 設置に適したケーブルを使用してください。

ケーブルをブラケットに通し、ブラケットから 50cm 程出してください。



必要となるケーブルは構成により、システム構成に合うケーブルをお使いください。アラーム等を使用しない最もシンプルな構成の場合は、次の3種です。

- ・電源線 (AC24V)
- ・同軸ケーブル (NTSC)
- ・ツイストペア 2 芯 (RS485)

7. 設置

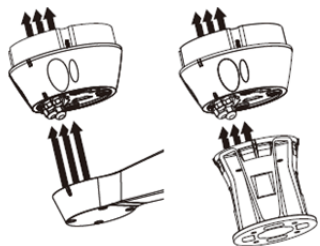
**!** いかなる理由であっても、マニュアルに記載のない配線をしないでください。マニュアル記載のとおり配線を実行しなかった場合、人を傷つけ、機器を損傷する可能性があります。

**!** 購入時の配線状態から、製品本体の配線を勝手に変えないでください。人を傷つけ、機器を損傷する可能性があります。また、無償保証期間内であっても、製品の保証は無効となります。

**i** 今後のために、結線図を保管してください。

7-1 下部電源ベースユニットへのケーブル通線

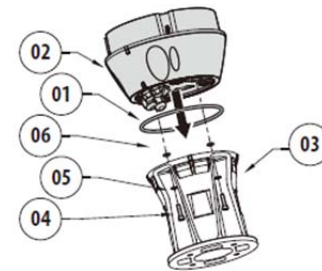
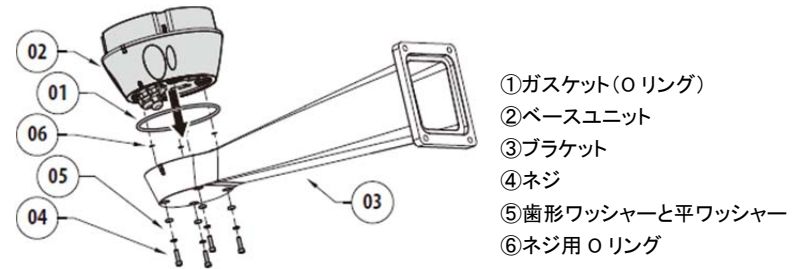
ケーブルグランドにケーブルを通し、ブラケットから約 20cm のところでベースを維持し、トルクレンチ 5Nm でしっかりとケーブルグランドを締め付けてください。ケーブルグランドは、φ5~10mm のケーブル用です。



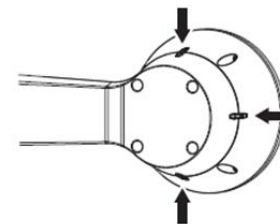
7-2 電源ベースユニットのブラケットへの固定

**!** ブラケットを固定するには、ベースに付属の専用のボルトとネジを使用してください。

ガスケット①をブラケットのガスケット用の溝に配置後、ブラケット③にベースユニット②をネジ、歯形ワッシャー・平ワッシャー⑤でしっかり固定します。ネジ用の O リングを挿入してください。



図のように、ベースとブラケットの 3 つのくぼみを確実に合わせてください。



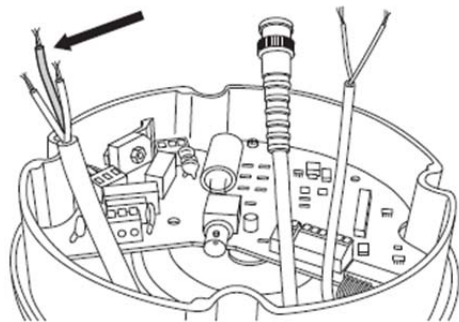
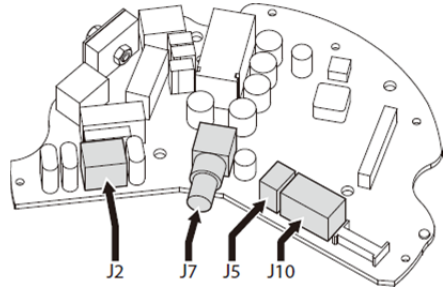
**!** ネジ穴は、LOCTITE 243®タイプのネジゆるみ止め接着剤でシールしてください。

**!** 締め付けトルク 4Nm で締めてください。

7-3 主基板への結線

7-3-1 接続基板

接続端子名	用途
J2	電源入力 端子台
J5/J7	映像出力 BNC/端子台
J10	制御信号 端子台



アース線は、他の 2 線よりも 1cm 程度長めにして、余裕を持たせます。

7-3-2 電源ケーブルの接続



接続の前に、基板に電源ケーブルが接続されておらず、ブレーカー回路がオープンになっていることを常に確認してください。



設置の前に、必ず、ユニット本体と接続する AC 電源の電圧・電流仕様が合っているか確認してください。



アース線は、他の 2 線よりも 1cm 以上長めにしてください。ケーブルが引っ張られた際に、抜けないようにするためです。

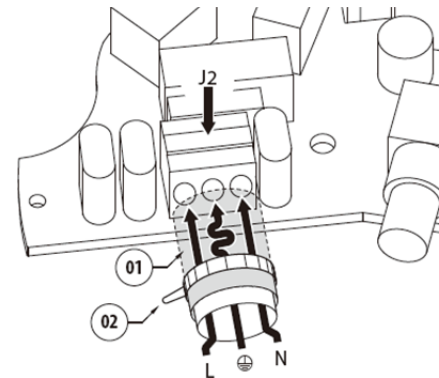


使用電圧および機器の必要電流量に適した仕様のケーブルを使用してください。



電源ケーブルは、必ず付属のシリコンシース①で保護してください。  
結線後、適正な位置で、結束バンド②で締めてください。

本製品には、3 種類の電圧モデル(AC24V/AC100V/AC230V)があります。必ず、製品のラベルに記載の電圧を確認してください。



アース線は、他の 2 線よりも 1cm 程度長めにして、余裕を持たせてください。

電源ケーブルは、付属のシリコンチューブで保護し、付属の結束バンドで締めます。

下表のように、J2 端子へ電源ケーブルを接続します。

AC24V モデル		AC230V モデル		AC120V モデル	
色	端子	色	端子	色	端子
任意	(N) Neutral	青	(N) Neutral	青	(N) Neutral
任意	(L) Phase	茶色	(L) Phase	茶色	(L) Phase
黄/緑	GND	黄/緑	GND	黄/緑	GND



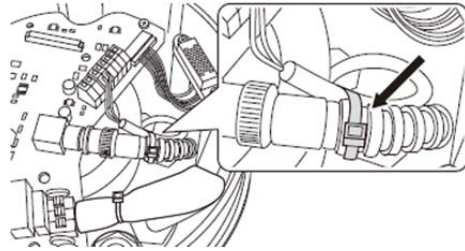
AC24V のトランス電源は、クラス 2 製品を使用してください。



カメラ付近の屋外に AC24V のトランス電源を設置する場合は、映像・制御信号の中継を含んだ屋外用の電源 BOX 等のオプションもございます。  
詳細は、販売元、製造元へお問合せください。

7-3-3 映像ケーブルの接続

**!** 結線後、適正な位置で、信号ケーブル(同軸/制御)を結束バンド等でまとめてください。

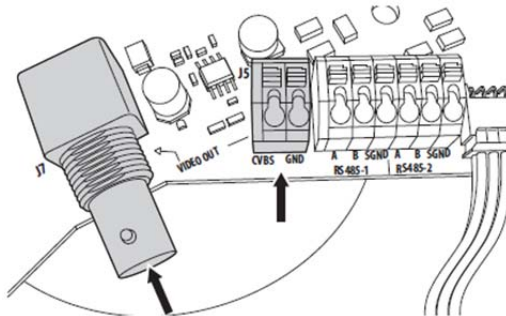


7-3-3-1 ビデオケーブルの接続

**!** 設置は、保護回路 TNV-1 タイプです。  
SELV 回路に接続しないでください。

**!** 発火を防ぐため、ケーブルは AWG26(0.13m<sup>2</sup>) 以上をご使用ください。

ビデオ入力端子は J5 と J7 がありますが、使用するのはいずれか片方のみです。  
J5 端子: 芯線を「CVBS」へ、アース(外皮)を「GND」に接続します。  
J7 端子: BNC コネクタの場合は、J7 へ接続します。BNC コネクタは設置者が用意してください。



**!** 端子台には、1.5m<sup>2</sup>(AWG16)~0.5m<sup>2</sup>(AWG30)のケーブルを接続できます。

7-3-3-2 制御線の接続

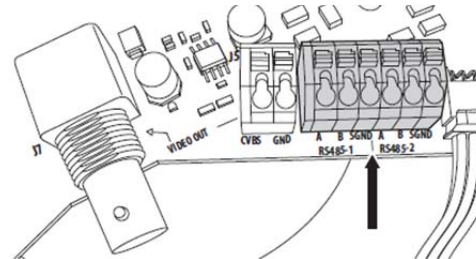
**!** 設置は、保護回路 TNV-1 タイプです。  
SELV 回路に接続しないでください。

**!** 発火を防ぐため、ケーブルは AWG26(0.13m<sup>2</sup>) 以上をご使用ください。

本製品には、RS485 ラインが 2 系統あります。

ライン	端子名	用途
RS485-1	A	RS485 (1)
	B	RS485 (1)
	SGND	RS485 (1) reference
RS485-2	A	RS485 (2)
	B	RS485 (2)
	SGND	RS485 (2) reference

カメラ本体の CPU ボード上のシリアル設定(DIP1)上の DIP/SW 5 と 6 に従って、接続します。

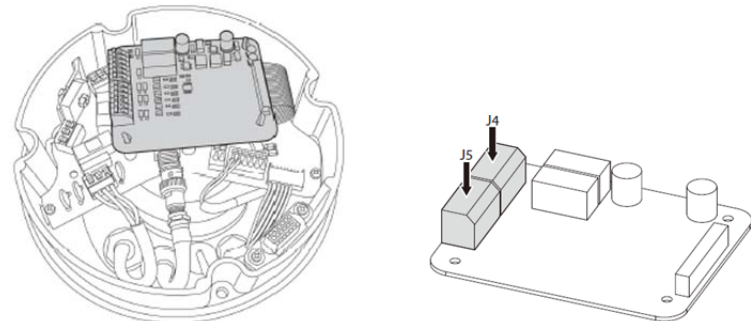


7-4 アラーム・リレー基板への接続

**!** 全ての信号ケーブルは、グループ毎に結束バンド等でまとめてください。

7-4-1 基板

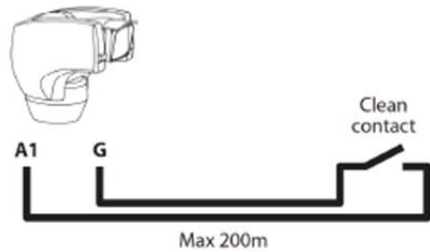
接続端子名	用途
J4/J5	アラーム・リレー





7-4-2 アラーム入力

下図のとおり、アラーム入力としてドライコンタクトを入力することができます。  
 接続端子は、J4-J5 です。



アラームスイッチは、N.O.(ノーマルオープン)、もしくは、N.C.(ノーマルクローズ)とします。

端子名	用途
W、G	ウォッシャーフロートアラーム(水位センサー)
A1、A2、A3、A4、A5*、eG	アラーム(ドライコンタクト)

\*ライトの点灯のための感度スイッチ(付属しません)なども接続することができます。  
 アラームは、最小 0.25m<sup>2</sup> (AWG24)のシールド無のケーブルであれば 200m 以内でご使用できます。

**i** 設定や使用の詳細は、9-1-12-1 アラームメニューを参照してください。

7-4-3 リレー出力

**!** リレーは、低電圧(AC30V/DC60V)で使用します。最大電流 12A です。ケーブルは制御に適正なものを使用してください。端子台は、0.5~1.5m<sup>2</sup> (AWG30-16)のケーブルを接続可能です。

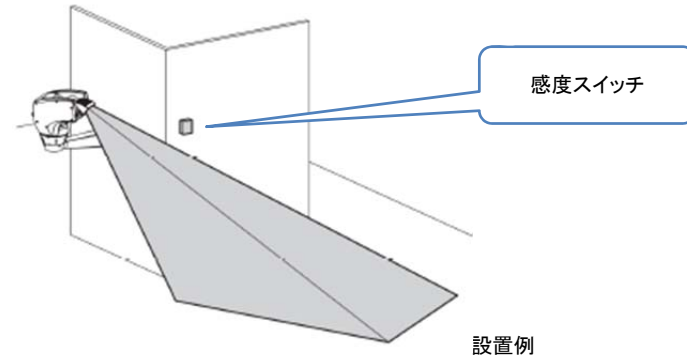
リレー出力は、リレー1としてR1AとR1B、リレー2としてR2AとR2B端子があります。  
 リレー端子には極性がありません。A、Bのどちらの端子も同じように使用できます。  
 ON/OFFでも、連続電圧でも使用可能です。

端子名	用途
R1A	リレー1 端子 A
R1B	リレー1 端子 B
R2A	リレー2 端子 A
R2B	リレー2 端子 B

**i** 設定や使用の詳細は、9-1-12-1 アラームメニューを参照ください。

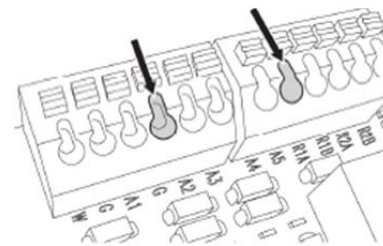
7-4-4 LED ライトの感度スイッチ

- !** 設置の際、点灯しているライトを直視しないでください。
- !** 日中と夜間の適正な画像を撮影するためには、センサーを正しくセットする必要があります。
- !** 感度スイッチが設置されている場合、外灯や車のヘッドライトによる光源で点灯することはありません。



- i** 感度スイッチは、様々な明かりがあす場所で非常に有効です。
- i** ライトが点灯すると、カメラは自動的にナイトモード(白黒)になります。
- i** 詳細設定については、9-1-9-11 高度な設定(赤外線ライト)を参照してください。

感度スイッチは、アラームボードの A5 と G 端子にドライコンタクトで接続します。



ダスクスイッチ仕様 (付属していません。別途ご用意ください)

- ・ドライコンタクト
- ・感度範囲 1~100 ルクス
- ・ノーマルオープン

7-4-5 ウォッシャーの接続

**i** 詳細設定については、ウォッシャーのマニュアルを参照してください。

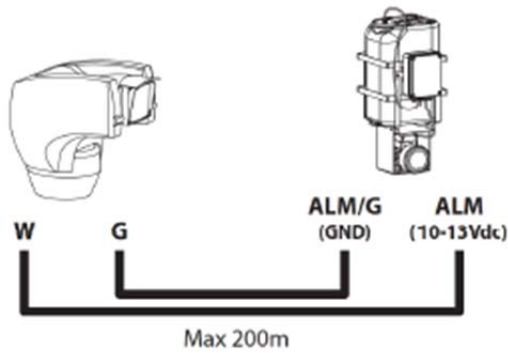
**i** ウォッシャーシステムが接続されている場合、リレー2はウォッシャーポンプ操作を有効にする場合にのみ使用されます。9-1-13 ウォッシャーメニューを参照ください。

ウォッシャーポンプを接続する場合は下表のとおり、結線します。

ウォッシャー CN4	アラームボード端子台 J4
CMD	R2A
GND	R2B

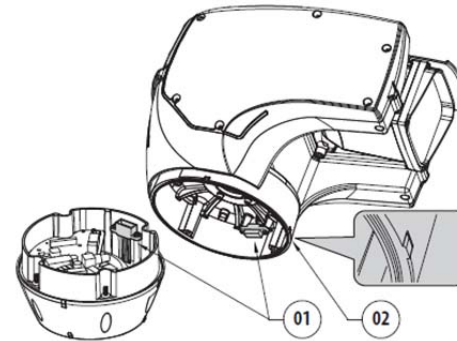
タンクに水位センサーがついている場合は、下表の結線も行ってください。

ウォッシャー CN4	アラームボード端子台 J4
ALM	W
ALMG	G

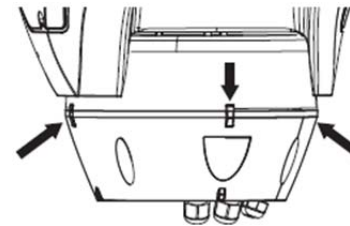


7-5 本体上部の固定

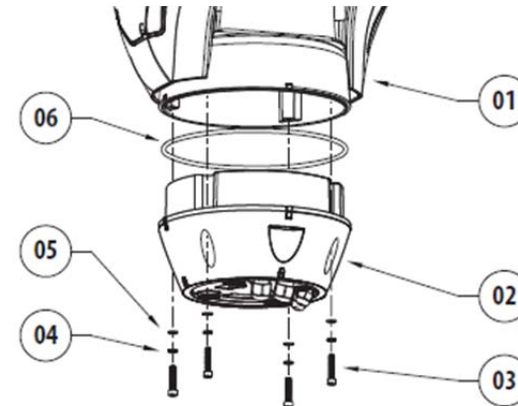
図のように、ユニット上部の内側のツメ(01)と、ベースユニットの受け(02)が確実に合うようにします。向きを合わせてユニットをベースに乗せます。



ユニット本体の接合部のマークとベースのマーク3点が確実に直列になるよう合わせます。



本体(01)とベース(02)を付属のネジ(03)と歯形ワッシャー(04)と平ワッシャー(05)を使用して固定します。その際、ベースのガスケット(Oリング)(06)を必ず、適正な位置に合わせてください。



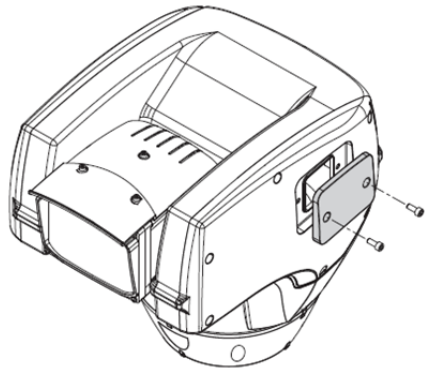
**!** ネジ穴は、LOCTITE 243®タイプのネジゆるみ止め接着剤でシールしてください。

**!** 締め付けトルク 4Nm で締めてください。

7-6 DIP/SW の設定

7-6-1 DIP/SW のカバーを開ける

デバイスに電源を入れる前に、本体側面にある DIP/SW で ID や通制御に関する設定を正しく行います。図のように、ネジを外し、蓋を開けてください。

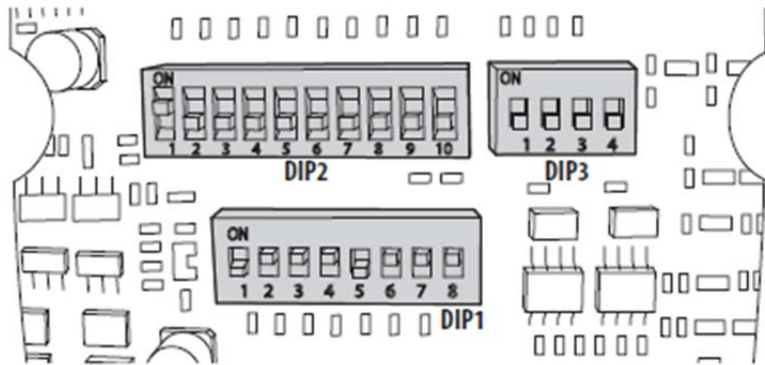


**必ず、カメラを現場に設置する前に、この設定を行ってください。**

7-6-2 DIP/SW を定義する

**!** DIP/SW のスイッチが上にある場合は、値「1」=「ON」です。スイッチが下にある場合は、値「0」=OFF です。

蓋を開けると、下図のとおり DIP/SW があります。



7-6-3 確認モード設定の設定(DIP1)

**!** SW1 が OFF であることを確認してください。

SW1=ON: ディスプレイ定義 設定終了後に、行った設定内容を確認する場合にのみ使用します。通常操作時は、OFF です。

工場出荷時の定義は、下記のとおりです。

アドレス	1
プロトコル	MACRO
ボーレート	38400
シリアルライン	One-way RS485
シリアルライン1 終端設定	ON
シリアルライン2 終端設定	ON

7-6-4 ボーレート設定(DIP1)

DIP/SW2,3,4 は、機器の通信レートの設定に使用します。下表を参照ください。

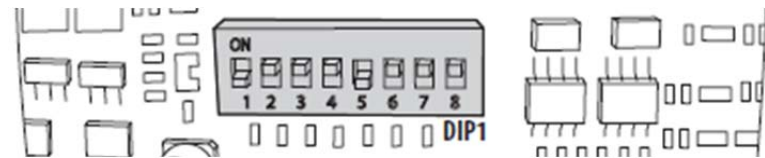
ボーレート設定	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5/6/7/8	定義
-	ON	ON	ON	ON	-	38400
-	OFF	ON	ON	ON	-	19200
-	ON	OFF	ON	ON	-	9600
-	OFF	OFF	ON	ON	-	4800
-	ON	ON	OFF	ON	-	2400
-	OFF	ON	OFF	ON	-	1200
-	ON	OFF	OFF	ON	-	600
-	OFF	OFF	OFF	ON	-	300
ディスプレイ定義	ON	-	-	-	-	ディスプレイ有効
	OFF	-	-	-	-	ディスプレイ無効

7-6-5 シリアル通信ライン(DIP1)

RS485 の通信ラインは、2 系統あります。

DIP1 の SW5 と 6 により、下記の設定が可能です。

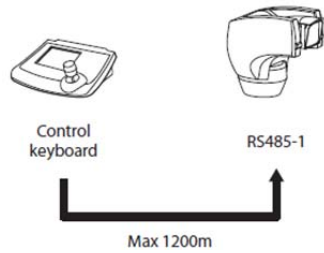
シリアルライン	SW1/2/3/4	SW5	SW6	SW7/8	定義
-	-	ON	ON	-	双方向 RS485 TX/RX ライン
-	-	OFF	ON	-	RS485-1 受信 RS485-2 リピート
-	-	ON	OFF	-	双方向 RS422 ライン
-	-	OFF	OFF	-	片方向 RS485 ライン参照



DIP/SW の定義設定完了後は、蓋を閉め、パンチルトの IP パラメータの定義設定を行ってください。

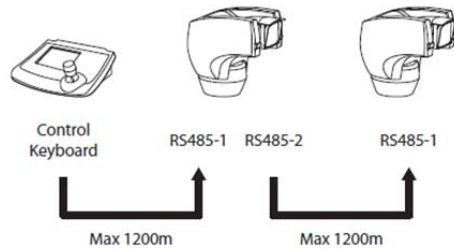
7-6-5-1 双方向 RS485 TX/RX ライン

この設定では、双方向通信 (Half/Full) が可能です。通信は RS485-1 ラインで行われ、RS485-2 ラインは使用しません。



7-6-5-2 S485-1 受信、RS485-2 リポート

この接続の場合、複数のユニットをカスケード接続できます。信号は、それぞれのユニットからリポートされますので、コントローラから最終地点の距離が非常に長い場合に有効です。



**i** この接続は片方向通信の場合のみ動作します。

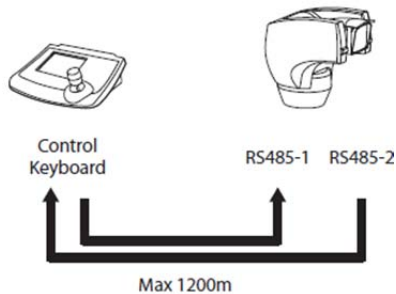
**i** この接続では、ファームウェアのリモートアップデートはできません。

7-6-5-3 双方向 RS422 ライン

この接続では、RS422 による Full Duplex 通信が可能です。

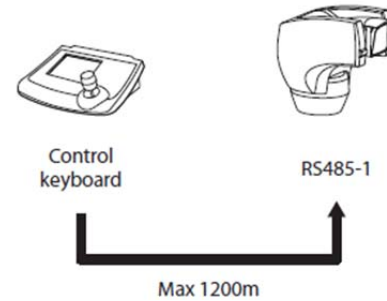
RS485-1 ラインは、常に受信モード (RS422-RX) です。

RS485-2 ラインは、常に送信モード (RS422-TX) です。



7-6-5-4 片方向 RS485 ライン

RS485-1 ラインは、DIP スイッチに設定されているアドレス・ボーレート・プロトコルに従い制御されます。RS485-2 は使用しません。



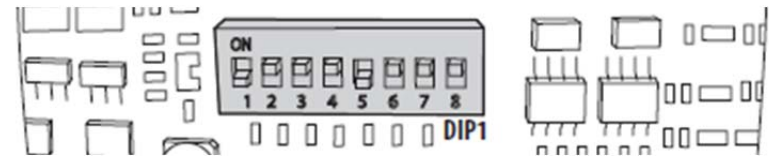
**i** この接続は片方向通信の場合のみ動作します。

**i** この接続では、ファームウェアのリモートアップデートはできません。

7-6-6 シリアルライン終端設定 (DIP1)

DIP1 の SW7 と SW8 はシリアルラインの終端設定に使用します。終端抵抗は、120Ω です。

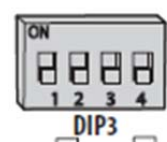
どの設置場所においても、ラインの末端に接続されている機器は終端抵抗を設定する必要があります。信号の反射やねじれを防ぐためにも、DIP スイッチで終端設定を正しく行ってください。



シリアルライン 終端抵抗	SW1/2/3/4/5/6	SW7	SW8	定義
-	-		ON	RS485-2 終端設定 有効
-	-		OFF	RS485-2 終端設定 無効
-	-	ON		RS485-1 終端設定 有効
-	-	OFF		RS485-1 終端設定 無効

7-6-7 プロトコル設定 (DIP3)

プロトコル設定は、DIP3 で行います。



Ulisse Compact は以下のプロトコルにて、操作可能です。

SW1	SW2	SW3	SW4	定義
OFF	ON	OFF	OFF	AMERICAN DYNAMICS
OFF	OFF	ON	OFF	ERNITEC
OFF	ON	ON	OFF	NETWORK
ON	OFF	ON	OFF	PANASONIC
ON	OFF	OFF	OFF	PELCO D
OFF	OFF	OFF	OFF	VIDEOTEC MACRO

7-1-16 アドレス設定 (DIP2)

Ulisse Compact のアドレスは、1~1023 まで割り当てることができます。

アドレスは、バイナリコードに基づき、DIP2 の 10 個のスイッチにより定義されます。



アドレス表は、巻末の付録を参照してください。

8. 電源を入れる



気温が 0°C 以下の場合、電源を入れると、自動的に内部のヒーターに電源が入り、本体を温めます。このプロセスは、低い温度環境で本機が正しく確実に作動するためです。環境によりますが、60 分~120 分間かけて本機を温めます。

電源を入れると、ULISSE Compact に電源が入ります。電源が入ると初期駆動が始まります。

※平回転、垂直動作、ズーム IN/OUT 等、一連の動作の自動チェックが始まります。

電源を切ると、カメラヘッドが下を向きますのでご注意ください。

8-1 本体に電源を入れる前に



本体のカバーがしっかりと閉じられ、他の部品等と何も接触がないことを確認してください。



全ての部品が確実に安全に締められていることを確認してください。



電源を入れる際には、離れてください。電源投入後、カメラは回転します。

初めて電源を入れる際には、全ての設定が正しく行われていることを確認してください。

確認のためには、電源を抜き、DIP/SW の蓋を開け、DIP1 の SW1 を ON にします。電源投入後、数秒でモニターに設定内容が表示されます。

設定確認完了後、本体の電源を切り、DIP1 の SW1 を OFF にします。

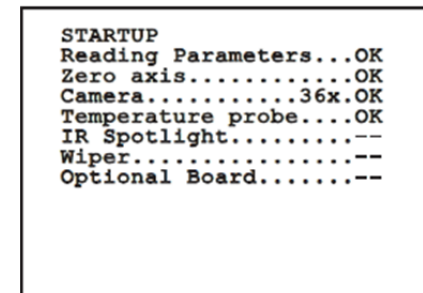
蓋を閉め、改めて電源を入れてください。

8-2 チェックリスト



チェック項目に何らかのエラー (ERR) が表示された場合、販売元もしくは製造元にお問合せください。画面上に「-」が表示された場合は、該当のオプションは付属していないことを示しています。

電源を入れると、通常動作の前に、チェックリストが画面に表示されます。





9. システム設定

本製品は、ODM(OSD)オンスクリーンモニターメニューで設定を行います。  
OSMメニューはカメラ画像常時表示されます。

9-1 OSM(On Screen Menu)メニュー

ULISSE の通常動作時は、OSM(OSDと同義)を使用できます。OSMでは、高度な設定が可能です。操作する場合は、接続されているコントローラのマニュアルと併せて参照ください。

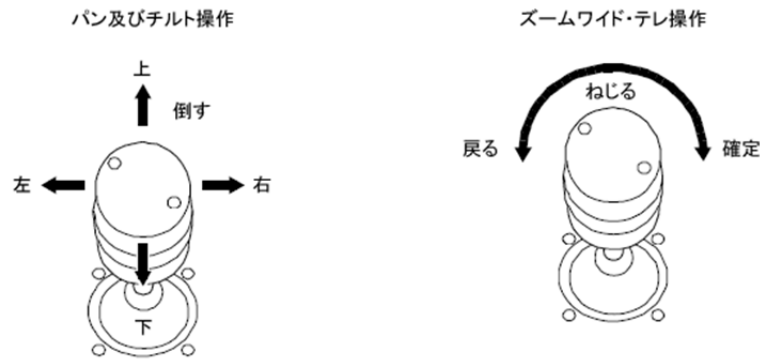
9-1-1 ジョイスティック操作

メニュー操作は、ジョイスティックで行います。

上下左右に動かすと、カーソル「>」が移動します。

確定する場合や、サブメニューに入る場合は、ジョイスティックを右にねじります(確定)。

前の画面に戻る場合は、ジョイスティックを左にねじってください(確定)。



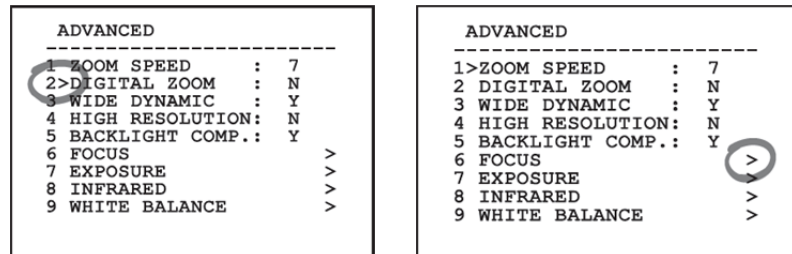
- i** OSMメニュー設定時のジョイスティックの操作
- 上下左右に動かす=カーソルが上下左右に移動
- ズームワイド及びズームテレ操作=「戻る(EXIT)」及び「確定(ENTER)」

9-1-2 メニュー間の移動

「>」がカーソルです。カーソルを上下に動かし、設定したいメニュー項目へ移動させます。

メニュー項目の右端に、「>」がある場合は、サブメニューがあることを示しています。

サブメニューに入るには、メニュー項目にカーソルがあることを確認した上で、ジョイスティックを右にねじります(確定)。

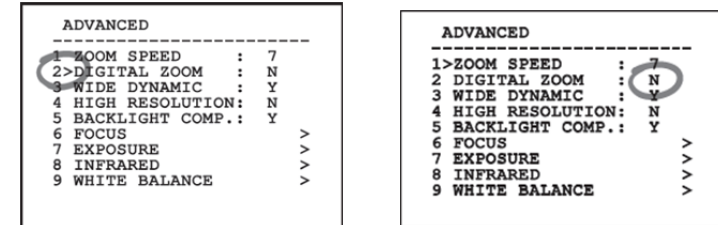


9-1-3 設定の変更

カーソルを合わせると、変更可能な項目が点滅します。ジョイスティックを上下に動かすと、他の選択肢が表示されます。

変更する選択肢が表示されたら、確定します。

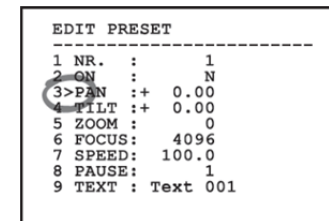
確定されると、点滅が止まります。



9-1-4 設定数値の変更

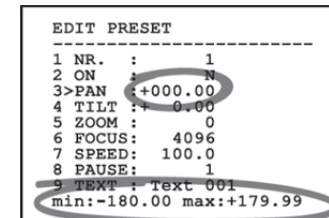
カーソルを変更した項目にあわせると、点滅が始まります。

※編集可能な項目は点滅します。



数字の初めの桁が点滅します。変更する場合は、上下で数値を変更します。

任意の数値を設定したら、右へ動かし次の桁へ移動します。同様に数値を変更します。

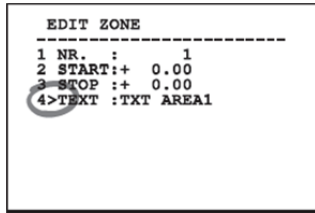


ジョイスティックを上下に動かすと、他の選択肢が表示されます。

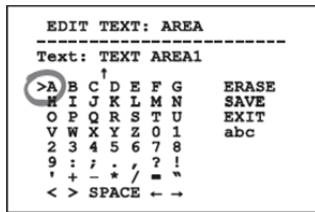
同じ項目の行に、別の「>」が表示され点滅している場合は、その数値を設定する必要があります。ジョイスティックを左右に動かし、フィールドに移動後、同様に数値を設定してください。項目によっては、範囲外の数値は設定できませんので、その場合は、設定可能な最小数値・最大数値になります。

9-1-5 テキストの変更

1. 編集したい項目まで、カーソルを移動し、確定します。

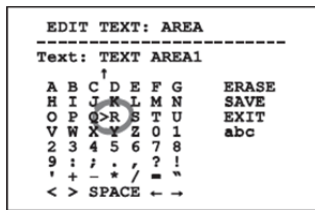


2. テキスト編集画面が表示されます。



編集中の文字の下に、↑が表示されます。

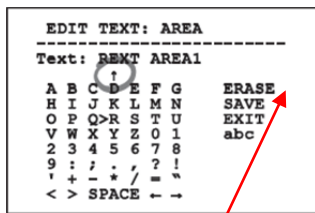
3. 文字を選択します。



ジョイスティックを使用し、任意の文字までカーソル>を移動し、文字を選択(確定)します。

操作を中止する場合は、ESC を押してください。

4. 次のテキストに移動し、同様の操作を繰り返します。



その他の編集メニュー

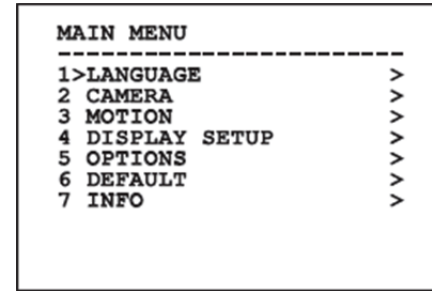


- ERASE: 文字列を削除します
- SAVE: 新しいテキストを保存します
- EXIT: 操作を中止し、メニュー画面に戻ります
- abc: 小文字を表示します

9-1-6 システム設定

製品の設定は、次のとおり、メニュー画面で行います。

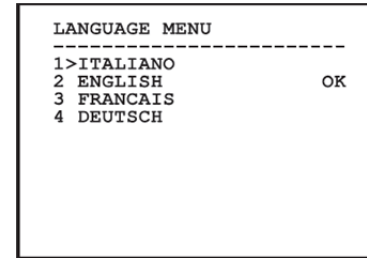
9-1-7 メインメニュー



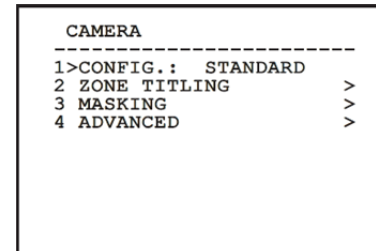
1. 言語
2. カメラ
3. モーション
4. ディスプレイ設定
5. オプション
6. デフォルト
6. 設定情報参照

9-1-8 言語

メニューに使用する言語は、イタリア語、英語、フランス語、ドイツ語の4つから任意の言語を選択します。



9-1-9 カメラメニュー



1. 設定: STANDARD(デフォルト) 標準
  - LOW LIGHT : 薄暗い環境の場合に設定します
  - Far Mode : 広域を撮影する場合に設定します
  - Custom : ユーザー設定 ユーザーが任意の値を設定します
2. ゾーンタイトル: サブメニューに入り、エリアにタイトルを設定します。
3. マスキング: サブメニューに入り、撮影画像の中の撮影しない部分にマスクを設定できます。
4. アドバンスド 高度な設定: サブメニューに入り、カメラモジュールの高度な設定を行えます。

9-1-9-1 ゾーンタイトル

撮影するゾーン(範囲)にタイトルを設定できます。設定できる範囲は、8ヶ所で、その範囲は任意に指定できます。

<pre> ZONE TITLING ----- 1&gt;ENABLING: N 2 EDIT ZONE                 &gt;                     </pre>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ENABLING: N タイトルの表示: N(はい)/Y(いいえ)</li> <li>2. EDIT ZONE: ゾーン編集 編集するには、サブメニューに入ります。 ※ジョイスティックを右へねじります</li> </ol>
---	---

9-1-9-2 ゾーン編集

EDIT ZONE のサブメニューに入り、以下の項目を設定します。

1. NR.(番号): エリア番号を設定します。
2. Start(スタート): エリアの開始位置を設定します。
3. Stop(ストップ): エリアの終了位置を設定します。
4. TEXT(テキスト): 指定したゾーンが画面に表示された場合に表示されるタイトル名を編集します。

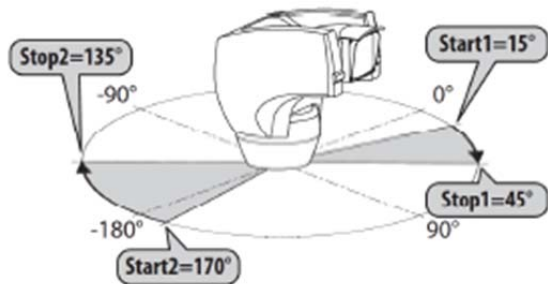
■設定例

15° ~45° の範囲をゾーン1とし、タイトルを有効にする場合

- ① 1 ENABLING を「Y」に変更し、2 EDIT ZONE のサブメニューに入ります。
- ② 1 NR. 1を設定します。
- ③ 2 START +15.00を設定します。
- ④ 3 STOP +45.00を設定します。
- ⑤ 4 TEXT 必要に応じて、タイトル名を編集します。

**i** スタートとストップの値が共に0の場合、テキストは非表示となります。各ゾーンで、範囲が重なった場合、**高い数値が優先されます。**

**i** 時計回りに順にゾーンを指定する場合、下図を参照ください。



**i** デフォルトのタイトルと位置は、4つの基点を参照します。NORTH(北)は、動作メニューのパンパラメーターのオフセットによって編集できます。9-6-4 動作メニューを参照ください。

9-1-9-3 マスキングメニュー

任意のエリアにマスクをかけることができます。設定できるマスクの数は24ヶ所です。マスクは、設定の際の水平・垂直・ズームの深度を計算して定義されます。

Ulisse Compact は、表示された範囲に基づき、マスクの位置と範囲を維持します。

同時に8ヶ所まで表示できます。ユニットの回転速度を最大にしている場合、映像が表示される時間は非常に短くなります。その場合は、設定するマスクの範囲を大きめにし、回転中に行えるだけ長くマスクされるようにします。そうすれば、マスクの範囲は画面に表示されません。

**i** 確実にこの機能を活用するには、チルト位置は、-70° ~ +70° の間で設定してください。また、マスクのサイズは、マスキングする対象物の2倍の大きさ(幅・高さ共)にすることを推奨します。

マスキングメニューでは以下の設定をします。

1. COLOR(色): BLUE(青) マスクの色を選択できます。
2. EDIT MASK: サブメニューでマスクを編集します。

<pre> MASKING ----- 1&gt;COLOUR: BLUE 2 EDIT MASKS                 &gt;                     </pre>
--

9-1-9-4 マスクの編集

EDIT MASKS のサブメニューに入り、以下の項目を設定します。

<pre> EDIT MASK ----- 1&gt;MASK NUMBER : 1 2 ENABLE MASK  : N 3 EDIT MASK    &gt;                     </pre>
--

1. マスク番号: 1
2. マスク設定: N  
マスクの有効化: N(いいえ)/Y(はい)
3. マスク編集:  
マスクの作成・編集を行います。  
※3 マスクの編集で、選択したマスクに新たな範囲を設定することもできます。

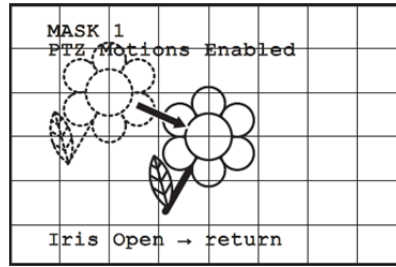
9-1-9-5 新しいマスクの作成

設定していないマスク番号を選択し、新しいマスクを作成します。

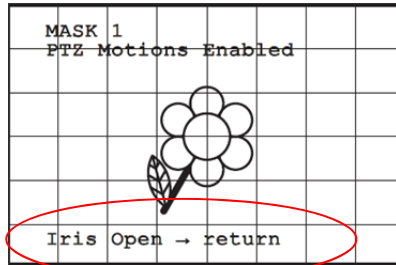
■設定例: 下図の花をマスキングします。

<pre> MASK Edit Mask: ON                     </pre>
---

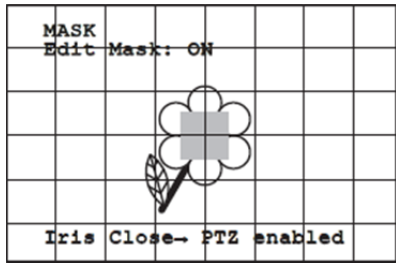
- ① 「IRIS CLOSE」ボタンを押し、マスキングモードからカメラ PTZ モードに移行します。



② ジョイスティックを使用し、ユニット本体を動か  
し、花が画面の中央になるようにします。



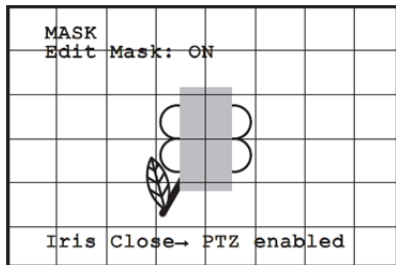
③ 花が画面の中央になったら、「IRIS OPEN」の  
ボタンを押します。



④ 小さな長方形が表示されます。  
ジョイスティックを動かし、花が隠れるまで、四角  
を大きくします。  
設定後、カメラのズームワイド/テレを使用し、マ  
スクを確認してください。

9-1-9-6 マスクの編集

EDIT MASKにて、編集するマスクの番号を選択し、EDIT MASKのサブメニューに入ります。  
前項と同様の操作を行います。ジョイスティックを動かし、長方形を任意の大きさに変更します。



設定後は、ズームワイド/テレを使用し、確認してください。

9-1-9-7 高度な設定

このメニューは SONY カメラモジュールの設定項目です。

ADVANCED		
1. > ZOOM		>
2. FOCUS		>
3. EXPOSURE		>
4. INFRARED		>
5. WHITE BALANCE		>
6. OTHERS		>

9-1-9-8 ズーム

ZOOM		
1. > ZOOM SPEED		7
2. DIGITAL ZOOM		N

1. ズームスピード: 7  
0(遅い)~7(速い)間で設定します。
2. デジタルズーム: N(いいえ)  
N(いいえ)/Y(はい)  
電子ズームを有効にするか無効にするか  
設定します。

9-1-9-9 フォーカス設定

FOCUS		
1>FOCUS SPEED	:	2
2 AUTOFOCUS	:	N
3 AUTOFOCUS TYPE:		NORMAL
4 SENSITIVITY	:	NORMAL

1. フォーカススピード: 2  
0(遅い)~7(速い)の間で設定します。
2. オートフォーカス: N  
N(いいえ)/Y(はい)  
ONの場合、どのようなPTZ操作でも  
自動で調整します。
3. オートフォーカスタイプ: NORMAL(通常)  
以下の3種から選択します。  
Normal(通常): 常にオートフォーカスはONです。  
INTERVAL: 5秒毎に、オートフォーカス機能が働きます。  
Trigger: PTZ操作が行われた時に、オートフォーカスが実行されます。  
この設定を推奨します。
4. 感度: NORMAL(通常) フォーカスレベルを設定します。  
NORMAL: 最速でフォーカスを合わせます。この設定を推奨します。  
LOW: ゆっくりとフォーカスを合わせます。  
明るさが十分でない場合、より安定して撮影することが出来ます。

9-1-9-10 露光設定

EXPOSURE	
1>MODE :	AUTOMATIC
6 AUTO SLOW SHUTTER :	Y
7 COMPENSATION :	N
8 COMPENSATION VALUE :	7
9 SHARPNESS :	2

- モード: AUTOMATIC 自動 (推奨)  
 光量の調整モードを選択します。  
 選択項目は以下のとおりです。  
 AUTOMATIC(自動)  
 MANUAL(手動)  
 SHUTTER(シャッター)  
 IRIS(アイリス)  
 BRIGHT(明るさ)

6. オートスローシャッター: Y

N(いいえ)/Y(はい) ON の場合、自動的に露光時間を長くし、夜間画像を鮮明にします。

7-8. 補正レベル・補正值: 露光レベルを設定します。

9. 逆光補正: Y N(いいえ)/Y(はい)

逆光の強い場所の撮影では設定すると効果的です。

※自動モードの場合、逆光補正の有効設定ができます。

※設定した露光モードは、全てのプリセットに連動します。自動モードを推奨します。

下表は、設定値別のカメラモジュールの効果一覧です。

No.	シャッター	アイリス	ゲイン	露出補正
0	1/1	Closed	-3db	-10,5db
1	1/2	F28	0db	-9db
2	1/4	F22	2db	-7,5db
3	1/8	F19	4db	-6db
4	1/15	F16	6db	-4,5db
5	1/30	F14	8db	-3db
6	1/60	F11	10db	-1,5db
7	1/90	F9.6	12db	0db
8	1/100	F5	14db	1,5db
9	1/125	F6.8	16db	3db
10	1/180	F5.6	18db	4.5db
11	1/250	F4.8	20db	6db
12	1/350	F4	22db	7,5db
13	1/500	F3.4	24db	9db
14	1/725	F2.8	26db	10,5db
15	1/1000	F2.4	28db	-
16	1/1500	F2	-	-
17	1/2000	F1.6	-	-
18	1/3000	-	-	-
19	1/4000	-	-	-
20	1/6000	-	-	-
21	1/10000	-	-	-

9-1-9-11 赤外線ライト設定

赤外線ライトについては、以下の項目の設定ができます。

INFRARED	
1>IR MODE :	AUTO
2 NIGHT LEVEL :	5
3 NIGHT DELAY :	5
4 DAY LEVEL :	20
5 DAY DELAY :	30
6 CUT OFF FILTER :	Y

- IR モード : AUTO(自動) 暗くなると、自動的にライトは点灯し、カメラは白黒モードに切り替わります。  
 OFF デイモード(カラー)になり、ライトは点灯しません。  
 ON ナイトモード(白黒)になり、常時点灯します。  
 ※ライトの ON/OFF を自動ではなく、マニュアル操作で行うには、キーボードコントローラによる操作もしくは、感度スイッチによる切り替え操作になります。
- NIGHT レベル : ナイトモードに切り替わる際のしきい値を設定します。  
 数値が小さい程、光レベルも低くなります。
- NIGHT デイレイ : ナイトモードに切り替わるまでの時間(秒)を設定します。
- DAY レベル : デイモードに切り替わる際のしきい値を設定します。  
 数値が小さい程、光レベルも低くなります。
- DAY デイレイ : デイモードに切り替わるまでの時間(秒)を設定します。
- カットオフフィルター: Y の場合、ユニットは通常通り動作します。  
 N の場合、カメラはナイトモードとデイモードで切り替わらず、デイモードでのみ動作します。IR MODE の設定に従って、LED ライトは点灯・消灯します。



切り替えの誤動作を防ぐために、デイレベルのしきい値とデイレイ時間は高めに設定することを推奨します。



夜間、例えば、パトロール中様々な光の照射が繰り返される場合や周辺の補助照明の点灯・消灯が頻繁に行われる場合など、デイ/ナイトモードの自動切り替え設定は、推奨できません。そのような状況では、デイナイトの無用な切り替えを頻繁に引き起こします。



## 9-1-9-12 ホワイトバランス

WHITE BALANCE	
1>MODE :	MANUAL
2 RED VALUE :	0
3 BLUE VALUE :	0

- モード: MANUAL(マニュアル)  
Automatic(自動): 自動で調整します(推奨)  
Manual: 手動で赤と青の値を設定します。  
Outdoor: 屋外用として、赤と青の値を固定します  
Indoor: 屋内用として、赤と青の値を固定します  
ATW(Auto Trucking White Balance): 照度に応じて自動で追尾し調整します。
- RED(赤) VALUE: 赤色を調整します。
- BLUE(青) VALUE: 青色を調整します。  
実際のカメラ画像を見ながら、任意の数値に調整してください。

## 9-1-9-13 その他

OTHERS	
1. > SHARPNESS	6
2. HIGH RESOLUTION	N
3. WIDE DYNAMIC	OFF
4. STABILIZER	N
5. PROGRESSIVE SCAN	N
6. NOISE REDUCTION	2

- シャープ: シャープネスのレベルを設定します。
- 高解像度: N(いいえ) 高解像度の画像を出力する場合は、Y(はい)に設定します。
- ワイドダイナミック: 撮影範囲の中に、部分的に明るい部分がある場合は、Y(はい)に設定すると画像が改善されます。
- スタビライザー: 電子画像を安定化させる機能です。
- プログレッシブスキャン: ビデオサーバーなどに映像を接続している場合は、有効にすると、パンチルト操作時など画像が安定します。
- ノイズリダクション: 環境に合わせて、よりコントラストの高い画像を得るために、ノイズリダクションレベルの値を調整します。

## 9-1-10 動作メニュー

パンチルトユニットの動きに関する設定を行います。

MOTION	
1>CONFIG. :	STANDARD
2 OFFSET PAN:	+ 0.00
3 MANUAL CONTROL	>
4 PRESET	>
5 PATROL	>
6 AUTOPAN	>
7 MOTIONS RECALL	>
8 ADVANCED	>

- 設定: Standard(標準)  
Standard: 標準のスピードで動作します。  
Low Speed: 遅いスピードで動作します。  
Wind Mode: 環境の振動や風圧に合わせた速度で動作します。  
High Perf: 全ての動きを最も速いスピードで実行します。  
Custom: 任意の速度を手動で選択できます。
- オフセット・パン: パンチルトユニットには機械的定義された 0° の位置があります。ソフトウェアを介して、それとは異なる 0° の位置を設定することができます。
- マニュアルコントロール: 手動動作のパラメータ設定のため、サブメニューに入ります。
- プリセット: プリセットのサブメニューに入ります。
- パトロール: パトロールのサブメニューに入ります。
- オートパン: オートパンのサブメニューに入ります。
- モーション・リコール: 自動復旧動作設定のサブメニューに入ります。
- 高度な設定: 高度な詳細設定メニューに入ります。

## 9-1-10-1 マニュアルコントロール

MANUAL CONTROL	
1>MAXIMUM SPEED :	100.0
2 FAST MODE :	Y
3 VEL. WITH ZOOM :	N
4 TILT SCALE FACT.:	2
5 AUTOFLIP :	Y
6 MOVEMENT LIMITS	>

- 最高速度: 100.0(デフォルト) マニュアル操作時の最高速度を設定します。
- ファストモード: Y(はい)/N(いいえ)  
Yの場合、ジョイスティックを動かすと、リミット位置まで速い速度で移動します。
- ズーム時のスピード: Y(はい)/N(いいえ)  
Yの場合、ズーム倍率に応じて、パンチルトの速度は自動的に減速します。
- チルトファクター: チルトマニュアル操作時のスピードの減速値を設定します。
- オートフリップ: Y(はい)/N(いいえ)  
※カメラが垂直方向の終点に達すると自動的に画像の天地を反転させて常にオペレーターの視線に対して正方向で画像を表示する機能
- リミット(動作制限): 動きのリミット設定サブメニューに入ります。

## 9-1-10-2 リミットの編集

パン及びチルト動作の範囲を制限することができます。

LIMITS			
1>PAN LIMITS	:		N
2 PAN START	:	+ 0.00	
3 PAN END	:	+ 0.00	
4 TILT LIMITD	:		N
5 TILT START	:	+ 0.00	
6 TILT END	:	+ 0.00	

1. パンリミット: N(いいえ)  
制限をかける場合は、Y(はい)に変更し、2. 始点と3. 終点を設定します。
2. チルトリミット: N(いいえ)  
制限をかける場合は、Y(はい)に変更し、2. 始点と3. 終点を設定します。

## 9-1-10-3 プリセットメニュー あらかじめ指定した位置への移動

PRESET		
1>EDIT PRESET	:	>
2 PRESET UTILITIES	:	>

1. EDIT PRESET: プリセットのサブメニューに入ります。
2. PRESET UTILITIES: プリセット定義設定のサブメニューに入ります。

## 9-1-10-4 プリセットの編集

EDIT PRESET			
1>NR.	:		1
2 ON	:		N
3 PAN	:	+ 0.00	
4 TILT	:	+ 0.00	
5 ZOOM	:		0
6 FOCUS	:	4096 - 5600	
7 SPEED	:	100.0	
8 PAUSE	:		1
9 TEXT	:	Text 001	

1. No.: プリセット番号
2. 有効設定: N(いいえ)/Y(はい)
3. パン: + 0.00
4. チルト: + 0.00
5. ズーム: 0
6. フォーカス: 4096 - 5600  
日中と夜間のフォーカス位置設定

7. スピード: 100.0(秒速)  
パトロールやスキャン作動のためプリセットが呼び出された際にプリセット地点へ到達するスピードを設定します。
8. ポーズ: 1(秒)  
パトロール作動中、次のプリセット地点へ動き出すまでの停止時間(秒)を設定します。
9. テキスト: Text 001 プリセット位置に到達した際に表示されるテキストを設定します。  
※このメニュー画面では、「アイリス・クローズ」キーで設定確定後、サブメニューに入ることで、設定数値はそのまま保存されます。

## 9-1-10-5 プリセットユーティリティ

PRESET UTILITIES			
1>AUTOFOCUS DAY	:		N
2 AUTOFOCUS NIGHT	:		Y
3 SCAN SPEED	:	200.0	
4 DEFAULT SPEED	:	100.0	
5 DEFAULT DWELL	:		3
6 SET SPEED?	:		
7 SET PAUSE?	:		

1. デイ オートフォーカス: N(いいえ)  
デイモードでプリセットが作動したときに、オートフォーカスの使用を有効にします。画像の焦点調整を速く正確に実行するためには、オートフォーカスを無効にします。
2. ナイトタイム オートフォーカス: Y(はい)  
ナイトモードでプリセットが作動したときに、オートフォーカスの使用を有効にします。赤外線ライトを搭載しているモデルの場合は、「Y(はい)」を推奨します。フォーカスポイントは、ライトが可視光か赤外線かによるからです。
3. スキャンスピード: 200.0(秒速)  
プリセット位置がスキャン機能で呼び出された場合の速度です。
4. デフォルトスピード: 100.0(秒速)  
プリセット速度の初期値を設定します。全てのプリセットの速度を同じスピードに統一するには、「6.SET SPEED?」で設定します。
5. デフォルト遅延時間: 3(秒)  
プリセットのデフォルトの一時停止時間を設定します。全プリセットの一時停止時間を統一するには、「7.SET PAUSE?」で設定します。
6. SET SPEED?  
全プリセットの速度を一括設定します。
7. SET PAUSE?  
全プリセットの一時停止時間を一括設定します。

## 9-1-10-6 パトロール 登録済みのプリセット地点の巡回動作

PATROL			
1>FIRST PRESET	:		1
2 LAST PRESET	:		250
3 RANDOM MODE	:		N

1. 最初のプリセット: 1 パトロールを開始する最初のプリセット番号
2. 最後のプリセット: 250 パトロールを終了する最後のプリセット番号
3. ランダムモード: N(いいえ) Y プリセット番号に関係なく、ランダムに巡回します。

## 9-1-10-7 オートパン 2地点間の首振り動作を設定します

AUTOPAN	
1>PRESET OUTWARD:	1
2 PRESET RETURN :	2
3 OUTWARD SPEED :	20.0
4 RETURN SPEED :	100.0

1. プリセット 往路: 1  
オートパンのスタート地点を設定します。
2. プリセット 復路: 2  
オートパンのエンド地点を登録します。

3. 往路スピード: 20.0(秒速) オートパンの往路速度を設定します。
4. 復路スピード: 100.0(秒速) オートパンの復路速度を設定します。

## 9-1-10-8 モーション呼出

一定時間何も操作されない場合(アイドリング状態)、オペレーターによって設定された動作へ自動で復旧する機能です。

MOTION RECALL	
1. > MOVEMENT TYPE	NONE
2. MOVEMENT DELAY	60
3. REBOOT MOVEMENT	HOME

1. 動作タイプ: NONE(なし)  
ホームポジションに戻る動作機能を、[なし/ホーム/オートパン/パトロール/ツアー1/ツアー2/ツアー3]の中から選択します。
2. 復旧までの時間: 60(秒)  
設定した時間(秒)、アイドリング(無通信)状態が続くと、1.で設定した動作へ自動復旧します。
3. **起動時動作**: NONE(なし)  
本体の起動完了後に動作する機能を[なし/ホーム/オートパン/パトロール/ツアー1/ツアー2/ツアー3]の中から選択します。

## 9-1-10-9 高度な設定

ADVANCED	
1>STATIC CONTROL	: Y
2 DYNAMIC CONTROL	: Y
3 CYCLIC HOMING	: 0
4 ECO MODE	: Y

1. 静的制御: Y(はい)  
パンチルト動作が停止している時のみ、  
ポジション操作が有効です。

2. 動的制御: Y(はい)  
パンチルト動作が実行されている時のみ、ポジション操作が有効です。
3. 周期的帰還: 0  
0以外にした場合、一定時間が経過した後、新しいホーム動作を設定します。
4. エコモード: Y(はい)  
パンチルト動作をしていない場合は、モータートルクを弱めます。  
※強い風や振動がある場合は、エコモードを有効にしないでください。

## 9-1-11 ディスプレイメニュー

画面や、スーパーインポーズの設定(文字色や背景色)など表示に関する設定を行います。

DISPLAY	
1>PTZ POSITIONS	: 1 S
2 PRESET NAME	: 3 S
3 AREAS NAME	: OFF
4 UNIT ID	: CONST
5 RECEIVED COMMAND	: CONST
6 HORIZONTAL DELTA:	3
7 VERTICAL DELTA :	3

1. PTZ ポジション : 1S 表示 ( OFF/1 秒/3 秒/5 秒/CONST [連続])  
OFF 以外は、パン・チルト・ズーム情報が表示されます。1 秒、3 秒、5 秒、常時から選択できます。メニューがカメラ画像上に表示されます。
2. プリセット名: 3S 表示 ( OFF/1 秒/3 秒/5 秒/CONST [連続] )
3. エリア名: OFF ( OFF/1 秒/3 秒/5 秒/CONST [連続] )
4. ユニット ID 表示: CONST 常時表示 (CONST/OFF)
5. 受信コマンド: CONST 常時表示 (CONST/OFF)
6. 水平デルタ: 3 メニューのテキストを水平方向に適正にセンタリングして表示します。
7. 垂直デルタ: 3 メニューのテキストを垂直方向に適正にセンタリングして表示します。

## 9-1-12 オプション

OPTION	
1>CEILING MOUNT	: N
2 ALARMS	>
3 WASHER	>

1. シーリングマウント(天吊): N(いいえ)  
天吊金具 TPS-P07CM で設置する場合は、Y(はい)に設定します。  
画像の天地を反転し、正常な画像が得られます。
2. アラーム: アラーム設定のサブメニューに入ります。
3. ウォッシャー: ウォッシャー設定に入ります。

## 9-1-12-1 アラーム設定

アラーム入力の設定を MENU 画面で行います。

ALARMS	
1>ALARM 1	>
2 ALARM 2	>
3 ALARM 3	>
4 ALARM 4	>
5 ALARM 5	>
6 ALARMS STATE	>

1~5. アラーム 1~5  
それぞれのアラームシステムのサブメニューに入ります。  
6. アラーム状態  
アラームタイプを確認できます。



赤外線 LED を搭載している場合は、アラーム 5 は、外部ライト感度スイッチに使用します。従い、アラーム 5 は画面に表示されません。

## 1~4 各アラームのサブメニュー

## 1. アラーム 1 の設定

ALARM 1	
1>TYPE :N.C.	
2 ACT. :SCAN	
3 NR. : 1	
4 TEXT :ALARM 1	

- タイプ: N.C.(ノーマルクローズ)  
N.C./N.O.(ノーマルオープン)のいずれかを設定します。
- アクション: スキャン  
アラームトリガーに連動する動作(スキャン/パトロール/オートパン/ツアー1/ツアー2/ツアー3)を設定します。OFFを設定すると、アラームは無効です。
- アラームアクションの動作番号:  
アラームアクションにスキャンを設定した場合のスキャンのプログラム番号を設定します。
- テキスト: ALARM 1  
アラームが動作した時に表示されるテキストを設定します。

## 6. アラーム状態

ALARM STATE では、入力されたアラームの状態(CLOSED/contact closed/OPEN/contact open)を参照することができます。

ALARMS STATE	
ALARM 1	CLOSED
ALARM 2	OPEN
ALARM 3	CLOSED
ALARM 4	CLOSED
ALARM 5	CLOSED

## 9-1-13 ウォッシャー設定

Ulisse Compact は、前面のガラスをきれいにするためのワイパーとウォッシャーをオプションとして用意しており、コントローラから操作することができます。

※ウォッシャー&ウォータータンクは、オプションでタンク容量と設置高さで数種類あります。

前面ガラスを洗うには、ハウジング前面がウォッシャーノズルの正面に向かい、ガラスを洗う水が噴射され、ワイパーが動作します。そのためには、プリセット位置をノズルの位置に合わせる必要があります。これをノズルプリセット(メニュー2)といいます。ワイパー機能が作動すると、この位置が呼び出されます。ノズルプリセットに設定するプリセットをあらかじめ任意の番号で登録します。

※デフォルトでは、「1」になっています。

WASHER	
1 ENABLE	: N
2 NOZZLE PRESET	: 1
3 WIPER-ON DELAY	: 5
4 WASHING DURATION	: 10
5 WIPER-OFF DELAY	: 5

- 設定 : N(無効)  
※ウォッシャーを使用する場合は、Yに変更します。
- ノズルプリセット : 1
- ワイパーディレイ : 5(秒)  
ポンプ作動後、ワイパーが動作開始するまでの時間を設定します。
- 洗浄時間 : 10(秒) 洗浄する時間を設定します
- ワイパー停止ディレイ: 5(秒) ワイパーが水なしで動作する時間を設定します



ウォッシャー機能を使用する場合、リレー2 はポンプスイッチに結線します。  
その場合、リレー2 にアラームを連動させることはできません。

9-1-14 初期化

工場出荷時の状態に戻します。

```

DEFAULT
-----
1>DELETE SETUP?
2 DELETED PRESET?
    
```

1. 設定の削除:  
プリセット値以外の全メニューの初期値が呼び出されます。
2. プリセット値の削除:  
登録されている全プリセット値を削除します。



これらの操作は、プリセット、パトロール、オートパン、ホーム等、全ての設定データを削除します。

9-1-15 INFO 情報参照

本ユニットのハードウェア・ソフトウェアのバージョン情報を参照できます

```

INFO
-----
Address: 1
Protocol: MACRO
RS485-1: 38400 N81 RX
RS485-2: 38400 N81 RIPET
HW: 0a (Apr 14 2009)
FW: 000-0000
Camera : 36x
PC: UC1PSSA000A
SN: 109032220029
    
```

9-2 ソフトウェアインターフェース (ネットワークモデルのみ)

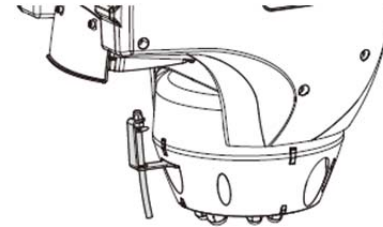


ネットワークモデルは、TPS-HD330NW、TPS-HD330NRW、TPS-HD330NLW に移行します。Ulisse Compact deLux のマニュアルを参照ください。

10. オプション品

10-1 ウォッシャー

ウォッシャーには、Ulisse Compact 用のノズルが付属しています。



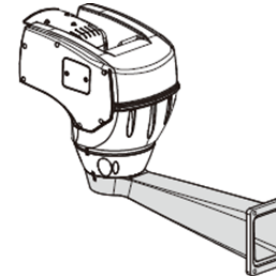
TPS-P07-WT23/-WT23M/-WT23CH  
ウォッシャー & 23L ウォータータンク

TPS-P07-WT5  
ウォッシャー & 5L ウォータータンク

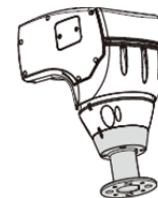


詳細は、ウォッシャーのマニュアルを参照ください。

10-2 ウォールマウントブラケット TPS-P07-WM



10-3 パラペットマウントブラケット TPS-P07PM

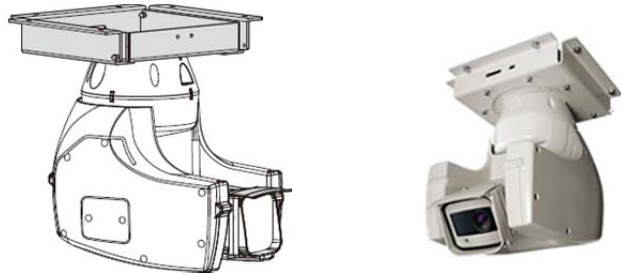


(図は旧型)





10-4 シーリングブラケット TPS-P07CM

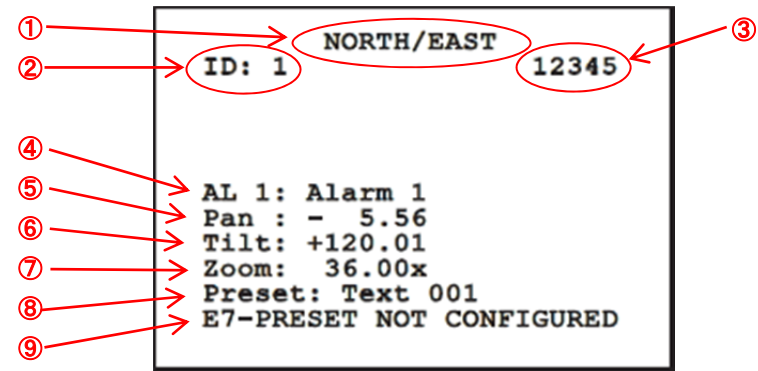


保守等でベースから本体を外した際には、歯形ワッシャーを毎回交換してください。

11. 通常動作

11-1 パンチルト情報の表示

電源投入後、通常、画面には、下図のように表示されます。  
表示についての設定変更は、9-1-11 ディスプレイ設定を参照ください。

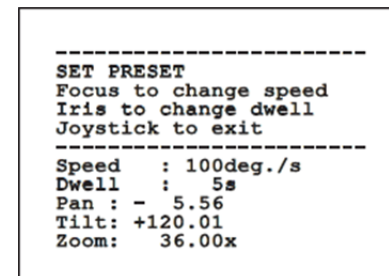


- ① NORTH/EAST: 現在地タイトル
- ② ID: 1 ID 番号
- ③ 12345: 有効なアラームの全リスト
- ④ AL 1: 最後に作動したアラームの番号
- ⑤ Pan: 現在のパン位置
- ⑥ Tilt: 現在のチルト位置
- ⑦ Zoom: 現在のズーム倍率
- ⑧ プリセット: 選択されたプリセットのタイトル
- ⑨ システム起動時に判明したエラーや、実行されたコマンド内容  
(受信したコマンドのみ表示・非表示の設定が可能です)

11-2 プリセット登録

11-2-1 クイック保存

コントロールキーボードを使って、現在の位置を簡単に保存することができます。詳細は、コントロールキーボードのマニュアルを参照ください。



設定保存のステップで、「FOCUS NEAR(フォーカス・ニア)」/「FOCUS FAR(フォーカス・ファー)」のキーを使って、プリセット速度を変更できます。  
同様に、「IRIS OPEN(アイリス・オープン)」/「IRIS CLOSE(アイリス・クローズ)」のキーを使って、遅延時間を変更できます。

11-2-2 メニューから保存

\*9-1-10-3 プリセットメニューを参照ください。

## 11-3 プリセットの呼び出し(スキャン)

コントロールキーボードを使って、既に登録しているプリセット地点を呼び出すことができます。詳細は、コントロールキーボードのマニュアルを参照ください。

## 11-4 パトロール機能

コントロールキーボードを使って、自動パトロールを有効にすることができます。詳細は、11-13 特別な操作 を参照ください。

無効にする場合は、コントロールキーボードを使用して無効にするか、他の動作を実行します。パトロール機能を設定するには、9-1-10-6 パトロールメニューを参照ください。

## 11-5 オートパン機能

コントロールキーボードを使って、オートパンを実行することができます。詳細は、11-13 特別な操作 を参照ください。

無効にする場合は、コントロールキーボードを使用して無効にするか、他の動作を実行します。オートパン機能を設定するには、9-1-10-7 オートパンメニューを参照ください。

## 11-6 パターンの呼び出し(ツアーの実行)

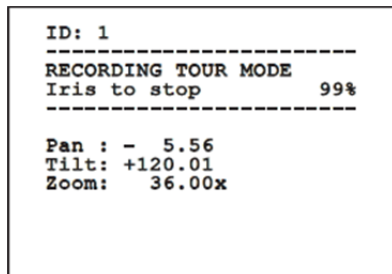
ツアーモードにより、登録している順路で、連続的に動作を繰り返すことができます。

パンチルト動作は、3ツアーまで保存でき、1動作時間は最長 2 分です。

ツアーを保存するには、コントロールキーボードを使用して、巻末のコマンド表に記載の割り当てられたプリセット番号に従って、保存します。

ツアーの記録を簡単にするために、パンチルト動作はズーム倍率に応じて、パンスピード・チルトスピードを自動的に制限します。

ツアー保存中、下図のとおり、残り時間が%で画面上に表示されます。



保存を中断するには、「IRIS OPEN(アイリス・オープン)」もしくは、「IRIS CLOSE(アイリス・クローズ)」キーを押します。

記録したツアーを再生するには、コントロールキーボードを使用して、コマンド表に記載の割り当てられたプリセット番号を実行します。11-13 の特別な操作 を参照してください。

## 11-7 ホームポジションの呼び出し

コントロールキーボードを使って、既に登録しているホームポジション(SCAN 1)を呼び出すことができます。詳細は、コントロールキーボードのマニュアルを参照ください。

## 11-8 ワイパーの使用



周囲温度が、0°Cよりも低い場合や、凍っている場合は、ワイパーを使用しないでください。

ワイパーをON/OFFするには、コントロールキーボードのワイパーキーを押すか、コマンド表に記載の割り当てられたプリセット番号を実行します。11-13 の特別な操作 を参照してください。



ワイパーは、磨耗を防ぐために、一定動作後は自動的にオフになります。

## 11-9 ウォッシャーの使用

ウォッシャーコマンドが実行されると、パンチルトユニットがノズルに向かい、窓を合わせます。設定した時間ポンプとワイパーが作動します。動作終了後、カメラは定位置に戻ります。

ウォッシャーのON/OFFには、コントロールキーボードのウォッシャーキーを押すか、コマンド表に記載の割り当てられたプリセット番号を実行します。11-13 の特別な操作 を参照してください。

水位レベルセンサー付きのウォッシャーの場合、タンク内の水位が低くなった場合、画面にメッセージが表示されます。

## 11-10 赤外線ライト

PTZカメラに感度スイッチを接続していない場合、LEDのON/OFFを特別操作で行えます。

11-13 の特別な操作 を参照してください。



赤外線ライトは、ライトの寿命を縮めないように、12 時間点灯後は自動的にオフになります。

## 11-11 本体の再起動

コントロールキーボードを使用して、本体をリブートすることができます。詳細は、11-13 の特別な操作 を参照してください。

## 11-12 プリセットフォーカスの手動調整

フォーカスを必要とするプリセットを呼び出した場合、手動でフォーカス調整が必要な場合があります。PTZ位置を変更することなく、FOCUS NEAR/FOCUS FAR キーを使用してフォーカスを調整し、その後、プリセットコマンドを使用して、プリセットを保存します。



プリセットの手動補正は、9-1-10-5. プリセットユーティリティのデイ オートフォーカス/ナイト オートフォーカスの項目が無効に設定されている場合のみ機能します。

SPECIAL CONTROLS						
Control	Protocol	AMERICAN DYNAMICS	ERNITEC	ONVIF (auxiliary command)	PANASONIC	PELCO D
	<b>VIDEOTEC MACRO</b>					
Tour 1 Start recording	Save Preset 77	Save Preset 77	Save Preset 77		Save Preset 77	Save Preset 77
Tour 2 Start recording	Save Preset 78	Start recording pattern 3	Save Preset 78		Save Preset 47	Save Pattern 2
Tour 3 Start recording	Save Preset 79	Save Preset 79	Save Preset 79		Save Preset 78	Save Preset 78
Tour 1 Start	Save Preset 80	Save Preset 80	Save Preset 80		Save Preset 48	Save Pattern 3
Tour 2 Start	Save Preset 81	Run pattern 3	Save Preset 81		Save Preset 79	Save Preset 79
Tour 3 Start	Save Preset 82	Save Preset 82	Save Preset 82		Save Preset 50	Save Pattern 4
Tour Record Stop	Iris Open/Close	Iris Open/Close	Iris Open/Close		Save Preset 80	Save Preset 80
		Save new pattern			Save Preset 51	Pattern 2
					Save Preset 81	Save Preset 81
					Save Preset 52	Pattern 3
					Save Preset 82	Save Preset 82
					Save Preset 53	Pattern 4
					Iris Open/Close	IrisOpen/Close
						Ack

SPECIAL CONTROLS						
Control	Protocol	AMERICAN DYNAMICS	ERNITEC	ONVIF (auxiliary command)	PANASONIC	PELCO D
	<b>VIDEOTEC MACRO</b>					
Wiper Start	Save Preset 85	Save Preset 85	Save Preset 85	tt:Wiper On	Save Preset 85	Save Preset 85
	Aux 3 ON	Aux 3 ON	Aux 3 ON		Save Preset 54	Aux 3 ON
	Wip+					
Wiper Stop	Save Preset 86	Save Preset 86	Save Preset 86	tt:Wiper Off	Save Preset 86	Save Preset 86
	Aux 3 OFF	Aux 3 OFF	Aux 3 OFF		Save Preset 55	Aux 3 OFF
	Wip-					
Washer	Save Preset 87	Save Preset 87	Save Preset 87	tt:WashingProcedure On	Save Preset 87	Save Preset 87
	Aux 4 ON	Aux 4 ON	Aux 4 ON	tt:WashingProcedure On	Save Preset 56	Aux 4 ON
	Was+					
Night Mode On	Save Preset 88	Save Preset 88	Save Preset 88	tt:IRLamp On	Save Preset 88	Save Preset 88
Night Mode Off	Save Preset 89	Save Preset 89	Save Preset 89	tt:IRLamp Off	Save Preset 57	
Reboot the device	Save Preset 94	Save Preset 94	Save Preset 94		Save Preset 89	Save Preset 89
	Ini+	Faster+ Zoom out+			Save Preset 58	
		Focus far+ Iris open			Save Preset 94	Save Preset 94
Enabling OSM	Save Preset 95	Save Preset 95	Save Preset 95	tt:OSM On	Save Preset 61	
	Men+	Iris open+ Focus+ Zoom out			Save Preset 95	Save Preset 95

SPECIAL CONTROLS	Protocol		VIDEOTEC MACRO	AMERICAN DYNAMICS	ERNITEC	ONVIF (auxiliary command)	PANASONIC	PELCO D
	Control							
	Patrol Start	Save Preset 93 Pat+	Save Preset 93 Run pattern 1	Save Preset 93 Run patrol	Save Preset 93 tt:Patrol On	Save Preset 93 Save Preset 60	Save Preset 93 Pattern	
	Patrol Stop	Save Preset 92 Joystick	Save Preset 92 Joystick	Save Preset 92 Joystick	Save Preset 92 tt:Patrol Off	Save Preset 92 Joystick	Save Preset 92 Joystick	
	Autopan Start	Save Preset 99 Apa+	Save Preset 99 Run pattern 2	Save Preset 99 Run Autopan	Save Preset 99 tt:Autopan On	Save Preset 99 Save Preset 63	Save Preset 99 Pattern 1	
	Autopan Stop	Save Preset 96 Joystick Apa-	Save Preset 96 Joystick	Save Preset 96 Joystick	Save Preset 96 tt:Autopan Off	Save Preset 96 Joystick Save Preset 62	Save Preset 96 Joystick	

12 メンテナンスとクリーニング


12-1 メンテナンス

 本製品のメンテナンスは、必ず、電気回路に詳しい熟練の技術者が行います。

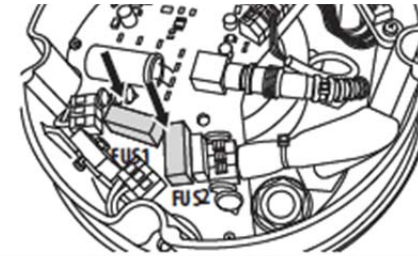
12-1-1 ファームウェアのアップデート

万が一、ファームウェアのアップデートが必要な場合は、製造元もしくは販売元にお問い合わせください。ファームウェアのアップデートは、付属の RS232C ケーブルで行うか、RS485-USB 変換ケーブルなどを使用して行います(付属していません)。この操作は、設定プロトコルが、MACRO (VIDEOTEC)、もしくは、PELCO-D の場合のみです。

12-1-2 ヒューズの交換

 **注意**  
発火を防ぐために、交換するヒューズは全く同じ仕様のものご用意ください。  
本作業は、必ず、電気回路に詳しい熟練の技術者が行います。


基板に搭載しているヒューズは、2 種類です。ヒューズが切れた場合は交換してください。本体の入力電圧により異なりますので、下表を参照ください。



VOLTAGE	FUS 1	FUS 2
24Vac 50/60Hz	T 4A L 250V 5x20	T 6.3A H 250V 5x20
120Vac 50/60Hz	T 4A L 250V 5x20	T 4A H 250V 5x20
230Vac 50/60Hz	T 4A L 250V 5x20	T 2A H 250V 5x20

12-2 クリーニング

12-2-1 窓ガラスとプラスチックカバーのクリーニング

 エチルアルコールや、溶剤、強酸性・アルカリ性の溶剤は使用しないでください。  
表面を傷つける恐れがあります。

ガラスが汚れた際は、レンズクリーナーや中性洗剤を湿らせた柔らかい布でやさしく拭いてください。

13 製品本体の廃棄について

本製品は工業用製品です。高品質の材質で構成されており、ほとんどの部品をリサイクルもしくは、リユースできます。本製品は電気電子製品ですので、製品が寿命により廃棄される場合には、お使いの地域の分別区分に従い処分してください。

なお、EU 内においては、中古の電気・電子機器はリサイクルセンターによる分別収集システムがあります。

14 トラブルシューティング

下記の場合は、技術の方から、販売元もしくは製造元へお問合せください。

- ・落下等で、本体が損傷した
- ・本体のパフォーマンスが明らかに低下・悪化している
- ・次に記載している内容をすべて確認したが、PTZユニットが正常に動作しない

<p>本体に電源が入らず、信号も表示されない</p>	<p>結線ミス、もしくは、ヒューズがとんだ                  ➡ 結線は正しいか、ヒューズに問題ないか、確認してください。ヒューズの場合は、記載のものに交換してください。</p>
<p>プリセットの位置が登録した位置にならない</p>	<p>絶対位置の参照ポイントを失っている                  ➡ コントロールキーボードでパンチルトのキャリブレーションをとります。(詳細は、キーボードのマニュアルを参照してください)                  もしくは、機器の電源を入れなおしてください。</p>
<p>モニターにカメラ画像が表示されないが、情報は表示される</p> <pre data-bbox="152 657 488 880">                 Address : 1                 Protocol : MACRO                 RS485-1: 38400 N81 RX                 RS485-2: 38400 N81 REPEAT                  232 : FW UPGRADE ONLY                  HW: 000-0001                 FW: 0a (Jun 4 2009)                  DIPl.1: VIEW CONF. ON             </pre>	<p>ディスプレイ設定の DIP スイッチ確認                  ➡ DIP1の SW1 で、ディスプレイが有効になっているか確認してください。</p>
<p>パンチルトユニット起動中、次のメッセージが表示されたまま</p> <pre data-bbox="152 992 488 1216">                 Address : 1                 DE-ICE PROCEDURE                 IN PROGRESS...                  REMAINING MINUTES:59             </pre>	<p>周囲温度が非常に低い                  ➡ 周囲温度が0°Cに達していない場合、使用前に本体を暖めますので、終了するまで待ってください。寒すぎる場合は、ULISSE COMPACT は動作せず、次のメッセージを表示します。</p> <pre data-bbox="600 1120 981 1289">                 Address : 1                 DE-ICE PROCEDURE                  -----                 SYSTEM BLOCKED                 TEMPERATURE TOO LOW                 -----             </pre>
<p>Error E1-AUTOPAN WITHOUT LIMITS</p>	<p>リミットとして設定された 2 つのプリセット地点が登録されていない                  ➡ プリセットを登録し、オートパン設定を更新してください。11-2 プリセット登録と、9-1-10-7 オートパンメニューを参照ください。</p>

<p>Error E2-WIPER BLOCKED</p>	<p>ワイパーが作動範囲からはみ出しているか、壊れている                  ➡ ワイパーが任意に動くか確認してください。それでも、復旧しない場合は、製造元か販売元に問い合わせてください。</p>
<p>Error E3-PATROL WITHOUT PRESET or Error E4-PATROL, 1 PRESET ONLY</p>	<p>プリセットが登録されていない                  プリセットが 1 つしか登録されていない                  ➡ プリセットを 2 つ以上登録し、パトロール設定を更新してください。11-2 プリセット登録と、9-1-10-6 パトロールメニューを参照ください。</p>
<p>Error E5-IR TEMP TOO HIGH Error E6 IR FAULT</p>	<p>赤外線ライトが正常に動作していない                  ➡ 製造元もしくは、販売元にお問い合わせください。</p>
<p>Error E7-PRST. NOT CONFIGURED</p>	<p>登録していないプリセットを呼び出している</p>
<p>Error E8-TOUR NOT CONFIGURED</p>	<p>登録していないツアーを呼び出している</p>
<p>Error E9-TEMP TOO LOW</p>	<p>周囲環境が低すぎる                  ➡ 機械的損傷を避けるために、パンチルトユニットの動作は停止されています。</p>
<p>Alarm AL6.WATER LEVEL LOW</p>	<p>ウォッシュータンクの水位が低い                  ➡ ワイパーの洗浄水を適正な位置まで入れてください。</p>

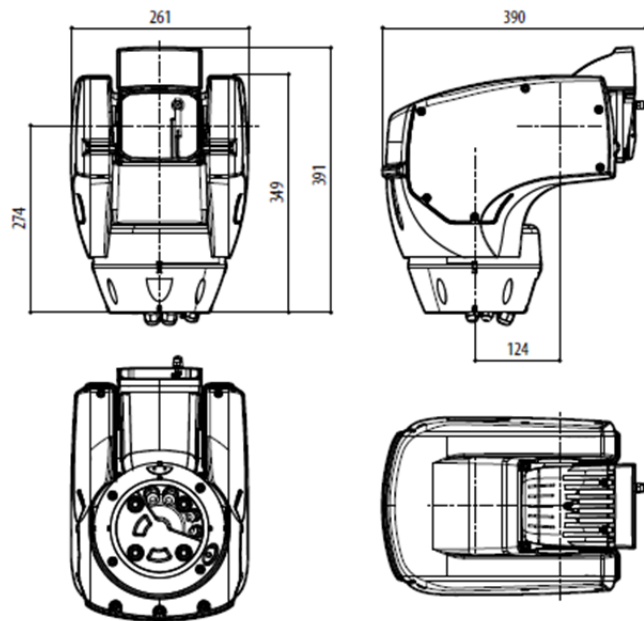
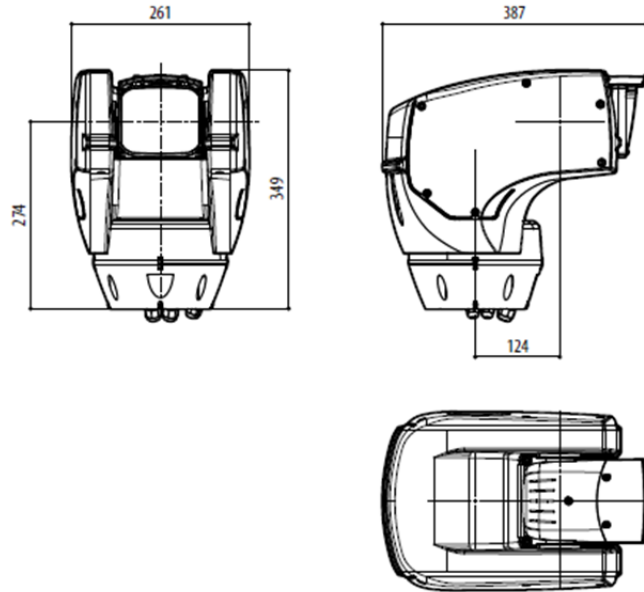


## 15 製品仕様

型番	TPS-P07CW	TPS-P07CR	TPS-P07CRW
水平回転範囲/速度	360° エンドレス、0.1° ~ 200° /秒		
垂直回転範囲/速度	-90°~90°、0.1° ~ 200° /秒		
バックラッシュ	0		
機能	オートパン、プリセット、パトロール、ツアー(最大3)		
プリセット数	Videotec-Macro: 250 PelcoD: 99 ERNITEC: 250 PANASONIC: 250 American Dynamics: 95		
プリセット精度	0.05°		
アドレス設定	ID 1023 まで、DIP スイッチによる設定		
設定操作	OSD (On Screen Display)		
プリセット/ゾーンタイトル	英数字 16 文字まで		
プロトコル	Videotec-Macro、PelcoD、American Dynamics etc.		
インターフェース	制御: RS485 (Half Duplex)、RS422 (Full Duplex)		
ケーブルグランド	M16×2、M12×2		
入力ケーブルサイズ	AWG16-19		
信号ケーブルサイズ	AWG16-30		
映像ケーブル	同軸 1.0V p-p 75Ω		
I/O 入出力数	アラーム入力 6 系統 リレー出力 2 系統(最大 AC30V/DC60V 2A)		
マウンティングポジション	トップマウント/リバース		
赤外線 LED ライト	-	LED9 個	
波長	-	850nm	-
照射角度	-	10°	
照度センサー	-	Photocell	
ケーブル結線	-	工場出荷時結線済	
電源 (入力電圧/消費電流)	AC24V 50/60Hz 4A AC120V(100V 可) 50/60Hz 0.8A AC230V(220-240V 可) 50/62Hz 0.4A		
消費電力	パンチルト動作停止・ヒーター停止時 40W パンチルト動作時・ヒーター作動時 60W 駆動時電流 ピーク 125W		
	-	IR ライト点灯時 15W	
サージ保護	ライン間: 2KV まで、接地: 4KV まで (Class4)		
重量	約 12.5kg	約 13.0kg	
材質	アルミニウム及びテクノポリマー		

色	RAL9002 エポキシポリエステルパウダー塗装
使用環境温度	屋内・屋外用 -40°C~60°C
耐風速	動作 : 160km/時 非破壊: 210km/時
防水防塵保護等級	EN60529 (IP66)
適合規格	Electrical safety (CE): EN60950-1, IEC60950-1 Electromagnetic compatibility (CE): EN610000-6-4, EN50130-4, EN55022 (Class A), FCC Part 15 (Class A) Outdoor installation (CE): EN60950-22, IEC60950-22 Photo biological safety (CE): EN62471 UL certification: cULus Listed (TYPE 4X) EAC certification
オプション	ウォッシュャータンク(5L、23L:5m まで/11m まで/30m まで) ウォールブラケット TPS-P07WM パラベットブラケット TPS-P07PM、 シーリングブラケット TPS-P07CM、

16 製品寸法



付録 DIPスイッチ アドレス設定表

アドレス 1~90 までの表です。

91 以上のアドレス設定は、製造元もしくは販売元にお問い合わせください。

SETTING THE ADDRESS (DIP2)										
SW 1	SW 2	SW 3	SW 4	SW 5	SW 6	SW 7	SW 8	SW 9	SW 10 (OFF)	SW 10 (ON)
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address not enabled	Address 512
ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 1	Address 513
OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 2	Address 514
ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 3	Address 515
OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 4	Address 516
ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 5	Address 517
OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 6	Address 518
ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 7	Address 519
OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 8	Address 520
ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 9	Address 521
OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 10	Address 522
ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 11	Address 523
OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 12	Address 524
ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 13	Address 525
OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 14	Address 526
ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 15	Address 527
OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 16	Address 528
ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 17	Address 529
OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 18	Address 530
ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 19	Address 531
OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 20	Address 532
ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 21	Address 533
OFF	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 22	Address 534
ON	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 23	Address 535
OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 24	Address 536
ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 25	Address 537
OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 26	Address 538
ON	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 27	Address 539
OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 28	Address 540
ON	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 29	Address 541
OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 30	Address 542
ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 31	Address 543
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 32	Address 544
ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 33	Address 545
OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 34	Address 546
ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 35	Address 547
OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 36	Address 548
ON	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 37	Address 549
OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 38	Address 550
ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 39	Address 551
OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 40	Address 552
ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 41	Address 553
OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 42	Address 554
ON	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 43	Address 555

SETTING THE ADDRESS (DIP2)										
SW 1	SW 2	SW 3	SW 4	SW 5	SW 6	SW 7	SW 8	SW 9	SW 10 (OFF)	SW 10 (ON)
OFF	OFF	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 44	Address 556
ON	OFF	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 45	Address 557
OFF	ON	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 46	Address 558
ON	ON	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 47	Address 559
OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 48	Address 560
ON	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 49	Address 561
OFF	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 50	Address 562
ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 51	Address 563
OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 52	Address 564
ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 53	Address 565
OFF	ON	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 54	Address 566
ON	ON	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 55	Address 567
OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 56	Address 568
ON	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 57	Address 569
OFF	ON	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 58	Address 570
ON	ON	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 59	Address 571
OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 60	Address 572
ON	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 61	Address 573
OFF	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 62	Address 574
ON	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 63	Address 575
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 64	Address 576
ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 65	Address 577
OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 66	Address 578
ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 67	Address 579
OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 68	Address 580
ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 69	Address 581
OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 70	Address 582
ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 71	Address 583
OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 72	Address 584
ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 73	Address 585
OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 74	Address 586
ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 75	Address 587
OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 76	Address 588
ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 77	Address 589
OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 78	Address 590
ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 79	Address 591
OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	Address 80	Address 592
ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	Address 81	Address 593
OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	Address 82	Address 594
ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	Address 83	Address 595
OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	Address 84	Address 596
ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	Address 85	Address 597
OFF	ON	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	Address 86	Address 598
ON	ON	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	Address 87	Address 599
OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	Address 88	Address 600
ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	Address 89	Address 601
OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	Address 90	Address 602

以上